(昭和八年十二月二十五日第三種郵便物認可)

滿洲日報

三月四日發行

發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 村本武盛

大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

齋藤首相頬冠りで 議會乘切りの肚

議會後園公訪問で進退決定 バラック建の現内閣

【東京特電四日發】鳩山文相の珍品五個事件に端を發し該事件の中核たる文相の樺工より五萬圓を收受したるの事實が到底抹消し得ざるものなりしがため政界は一時どうなるやら險惡なる雲行を示したが、それも文相の辭職により一段落を告げたる形となり本問題の終幕を以て閣僚綱紀問題の火の手も一應鎭靜に歸したるものと認め政府は首相兼攝とし殘期少き今議會を乘切る決意を固むるに至つたものである、而して今後兩院の形勢は貴族院は尙ほ一部の現閣僚中に紀上疑雲全くは晴れやらぬものありとて場合によりては第二矢、第三矢を放ちかねまじき懸念なきに非ず、政府の關心は主としてこの方面に向けられねばならぬ順序であるが他方衆議院は大觀して現内閣の存續を希望するに傾いて居る、といふのは衆議院の大多數は憲政擁護、ファッショ排擊の見地から政權今直に自黨の掌中に轉げ來らざる以上、現内閣の倒壞を期し又は倒閣運動を助強するが如きは得策にあらずとなして居るからである、

政友會としては鳩山文相辭職の前後、表裏の經緯に顧み必ずしも今後準與黨的好意を政府に寄せねばならぬ義務を負はぬでもよい立場に追ひ出されたとの感覺を持つに至つてゐるので今後議會が專ら政策上の討議に向ふ場合政友會は從來の態度を豹變して政府へ威嚇的反噬を加へるに至ることは有り得るのであつて就中農村對策に就いては一面政友會が本問題が自黨の主張なりとの自負より出發するに對し政府の本問題の取扱方がこれは亦反對に緩怠至極のものであるから從つて兩者間に展開する論爭は蓋る緊張するものと推せられる次第であるけれどもさりとて問題自身が追加豫算の形式に盛られてあるのに本豫算は夙に衆議院を通過して居るのであるからこの憾形に於てこの問題が政府の致命點とまで發展することは有り得ないとも見らるゝのであつて旁々政情の推移は政府をして確信を以て議會乘切りの意圖を達せしむるものと見られる、而して齋藤首相としては議會終了後は直ちに興津に西園寺公を訪問、其の心境を披瀝して今後の政局に處すべき重大方針を決するはずであるが、首相としてはその際なほ諸般の情勢を見て現内閣の存續可能の場合は直ちに政友會に交渉して文相後任の補充をなし内閣の陣容を整へて進む手筈なるものゝ如くである

居据りは困難

閣議は宛ら啞と聾の寄り合ひ 閣僚全く熱意を缺く

【東京特電四日發】齋藤内閣は鳩山文相の辭職に依つて議會に於ける一難を切り拔けた積りで居るが連續的の外科手術に依る創痍の影響は如何ともしがたいものがある三日の閣議の如き殘つた閣僚連は軈て自らも中島、鳩山兩相と同じ運命に陷らぬとも限らぬので何れも啞然として一語も發しなかつたといはれて居る、斯くて閣内に於ける熱意の缺乏に依り議會に提出すべき重要政策案の處理は停滯し兩院を通じて不滿の聲は益々高まり行く情勢であるから首相は議會を切り拔けることが出來ても豫定通り居据る事が困難と見られこれに伴ひ政界の暗流は益々激化して不安の空氣を增大するものと見られて居る

査問の一段落で 内紛蒸返しか

神經質になつた政友會

【東京特電四日發】鳩山文相等に關する査問會は終了し文相辭任とともに一段落となつたが岡本一巳氏は懲罰委員會に附せられたので綱紀問題は更に懲罰委員會を中心に論議さるべく一方暫く休戰狀態の政友會内訌は三日の本會議の裁決において故意の缺席者とみるべきもの約七十名に達してゐるので岡本氏懲罰に關聯して政友會内紛は再び蒸し返されると想像される

藤井遞信局長

め遞信當局と折衝中であつた遞信局長藤井崇治氏は四日入港のありか丸で歸連したが左の如く語る

電報料金改正問題其他の要務のた

電報料金の改正問題については遞信省當局を說得するのに相當困難だと思はれたが圓滿に解決した今日から見れば最早彼此申述べることもない、根本問題は早く片付いてゐたのだが枝葉の點に於て多少の差支へを生じたやうな次第であつた、電々會社

當局も相當の犧牲を拂つただ、郵政統一問題とかその他發表ろく問題はあるが、勞慮すべきものであるし、旁々題が餘りに大き過ぎて自分手に負へぬものばかりだ

事變の行賞は 滿鐵社員家族に及べ

貴族院豫算分科會にて 兒玉伯質問

【東京特電四日發】三日の貴族院豫算分科會に於て滿鐵社員の論功行賞に關する次の問答が行はれた

兒玉秀雄伯　論功行賞に付いては陸海軍人以外にも關東廳や領事館警察官に對しても充分行はれる事と信ずるが特に忘れてならぬものは滿鐵社員の功績である、これは從業員と共に家族にも亘つて行はるべきものと

岡本氏懲罰委員會

登院停止を政友主張

【東京四日發國通】岡本代議士が三日の衆議院本會議で院議に服從しなかつたため議長の職權により遂に懲罰委員會に附されたので五分六日懲罰委員會が開かれることゝならうが岡本氏の懲罰事犯に對し政友會は問題の性質上嚴罰主義を以て臨んでゐるので岡本氏に對し相當期間の登院停止を主張するものと見られ民政黨は結局議會程度を相當とするとの方針のやうであり國民同盟は飽くまで無罪論を主張する方針と觀測される從つて委員會は相當紛糾するだらうが結局政友會が多數で押し切るに相違ないから岡本氏は政友會主張通りの懲罰を受ける事になるだらう

日佛對滿投資契約 東京で調印を了す

佛の對滿接觸策成功

大淵理事

ドリヴイエ氏

【東京特電四日發】日佛提攜の對滿投資に關して三日午後六時滿鐵支社において大淵理事とフランスの經濟發展協會代表者ドリヴイエ氏との間に於ける調印を終つた、その要旨は既に傳へられた如くであるが

一、滿洲國の產業發展に寄與するため滿鐵とフランスの各專門の事業經濟發展協會とは各々五萬圓を支出して投資會社を設立する

一、會社は投資額を以て滿洲國内の都市計畫即ち重要都市の土木水利事業開發に當る

一、會社は小規模なるも將來此の種の投資業に就いて更に大規模の計畫を要する場合は滿鐵とフランスの各專門の事業これに當る

と云ふのである、これに對しては我が政府は既に認可の諒解を與へフランス政府もまた諒解あり茲にフランスの財團が滿洲國投資に成功したわけであり歐米の財團は少なからぬ衝動を受けるであらう

まづフランス側調印

【東京四日發國通】滿鐵では日佛對滿投資會社設立に關し觥々拓務、外務兩當局の認可を得て東京滿鐵支社において大淵理事とフランス經濟發展協會代表ドリヴイエ氏が會見の上契約書にドリヴイエ氏側の調印をなし直に右書類を大連本社に送達し滿鐵側の調印を了した上近く滿洲經由歸國するドリヴイエ氏に手交することにな

非常時フランス

【パリ發】バイヨンヌ市營質屋事件に端を發して大革命以來の大騷變を演じたフランスの非常時を擔當してヅーメルグ氏首班の下に二月九日夜各黨派の領袖連を閣僚とし擧國一致の強力内閣が組織された(寫眞はエリゼー宮前の嚴戒と首相親任式に臨む)

大藏男の滿洲問題質問 (1)

滿洲國の經營

日滿人まだく浮腰だ

二月二十七日午前十時開會の貴族院豫算總會に於て大藏公望男の試みたる質問要旨左の如し

大藏公望男　私が本日御伺ひしたいと存じますのは滿洲問題に對してゞあります、一體私は滿洲問題に對しては、餘り議會内において討議されるといふのは、必ずしも好ましいことではないと考へて居るのであります、併しながら今日まで私自身が滿洲に關して研究した結果を綜合して考へまするといふと、滿洲の狀態は必ずしも世人が考へて安心して居るやうな狀態ではない、滿洲問題に關しましては是非とも内閣において、しつかりした信念を以て御進みを願ひたいといふことを痛感しますので、寧ろ已むを得ず此處に立つた次第であります申上げる迄もなく國民一般が今日危機と稱へて居るものは、來らんとする所の千九百三十五、六年の年でありますが、この危機に付ては必ずしも私は來るとはいふことは考へて居りませぬ、併しながら何としてもこれに對しての準備が必要である、その爲に今回の豫算を拜見しますといふと、謂はゞ軍部偏重豫算といふ風なことになりまして、私はこれは誠に結構だと思ひますが、併しながら單に軍艦を澤山造つたり若くは軍器を澤山造つたばかりで、それで安心出來るといふものではない、どうしてもそれ以外にそれ等の軍艦と軍器と同じ程度に矢張り裏の工作が必要ではないかといふことが考へられるのであります、

鐵路總局職制改正

四路制四月一日實施

林滿鐵總裁東上

中澤氏長崎へ

人事

黃氏南下中止

南支人氣惡化

永井拓相

蛇角

生活の虹 (62)

菊池寛作
志村立美畫

死床の願ひ

公魚で肺病が治る

小田部博士發表

初等教育・體育輕視の弊

伸びる兒童に寂し 夢にも見ぬ鐵棒

氣候の關係から最も必要な 屋內體操設備不完全

既報、女學校入學試驗の際に端なくも暴露した、初等教育の缺陷、卽ち知能教育偏重、技能教育殊に體育輕視の弊については各方面の有識者間の注目を惹きつゝあるが初等教育における體育輕視の

事實 は單に教育當事者の怠慢にのみ歸し難くその體育設備にもまた著るしい缺陷あることが關係當局並に識者の間に注目を惹いてゐる

卽ち四季屋外の運動場を使用し得る內地の小學校に比し滿洲では一月より川月までの五ケ月間は嚴寒のために殆ど使用不可能の狀態におかれてをり從つて、當然必要になつてくるのは、完備せる屋內體操場の設備である、現在大連市內では獨立の冬期(雨天兼用)體操場を有する學校は十五校中一校もなく、講堂を以つて代用してゐる狀態にある、もとより

講堂 と體操場とはその使用の目的を異にし、ために內部設備廣さ等は體操に不適當なることは甚だしい

いま右市內十五校についてその廣さの平均を見るに約百三十坪で最も狹い松林小學校では兒童數六百七十七名、學級數十二級に對して僅かに八十坪、また大廣場小學校の如きも二十四學級一千百八十名に對して僅かに百二十坪しかない狀態である。平均百三十坪の體操場で一學級平均兒童數五一・七名が使用するのでは完全なる運動を取ることが事實非常に困難であるばかりでなく現在では一時間に一學級づゝ十時間づゝこの體操場を使用せざれば規定の時間だけ體操を課することも不可能な狀態である、從つて屋外運動場の

使用 出來ざる冬期五ケ月間は規定體操科時間の半分だけしかこの講堂兼體操場は使用出來ずために他の半分の時間は自然他の學科目と交換されるか若しくはスケート等の冬期屋外運動によつて補はれつゝあるも、全生徒にこれを正科として課するは場所並に器具の關係上まづ不可能である、然し屋外の運動場は不充分ながらも體操科に必須な器械を備へつけてあるが、屋內體操場に至つては各校殆どその完備を見ず左表に示す如き貧弱なる狀態にある

學校名	肋木桁數	並行棒	鐵棒
伏見臺	二	無	無
朝日	一八	三	二
日本橋	三	無	三
常盤	無	無	二
大廣場	一〇	四	四
春日	一二	二	二
松林	一二	無	二
南山麓	一二	二	三
沙河口	一〇	四	二
嶺前	無	五	二
下藤	無	無	無
霞	無	無	無
聖德	無	四	三
早苗	無	無	無

而して昭和九年度は全市で公學堂を除いても一千七百七十八名の兒童が增加し十七學級を殖やさねば收容出來ない狀態にあり、この傾向は今後益々濃厚にならんとしつゝあるが、體操場及び體操場設備を現在のまゝに

放置 することは兒童の體育の上から甚だ憂慮すべき問題で各小學校長はかゝる狀態を改善すべく目下寄々協議してゐる、而も各校最少限度の設備費を四五百圓と見積つてもその總額は約一萬圓に達すべき見込みでこれに對し關東廳當局は多年財源不足を理由として豫算計上を拒否してゐる實情にあるので各小學校ではこれを遺憾として近く意見を取り纏め更に根強く具申せんとする模樣である、これについて民政署學務課石森視學の意見を聞けば左の如く語る

この問題は吾々も常に考慮してゐることですが、何分費用の要ることゝて現在まで好結果を見るに至らなかつたことを遺憾に思つてゐる次第です、然しこれは逆に見るならば設備等の問題は種々の

困難 を伴ひますが、學校長の學校經營方針如何によつて左右されるところが多いと考へるがどうでせうか、最近兒童數も增加してゐるのだからこの問題になつてはなは充分考慮し、善處したいと思つてゐます、この新學期を期して各方面から設備完成といふやうな叫びがあがり一緒にその目的に向つて進むことが出來ることを願つてゐます

悲しい喪の凱旋

滿洲事變に奮戰し遂に護國の鬼と化した尊い犧牲者相馬、善井航空特務曹長以下四名の遺骨は四日午前七時大連驛着同九時より埠頭待合所で小川市長、岩井在郷軍分會長、山西滿鐵理事關根埠頭事務所長、土屋水上署長以下多數官民參列の上しめやかにも嚴肅な慰靈祭が執行され、午前十時出帆ばいかる丸で遺骨宰領者山路航空曹長以下四名の戰友に見守られ悲しい喪の凱旋をなした【寫眞は埠頭にて】

嚴たる御英姿

八年振り近衞師團 畏し天皇陛下行幸

非常時局に當り皇軍の士氣を鼓舞せらるゝと共に特に最近進歩せる科學兵器の狀況と新年兵の訓練を御親閱あらせらるため天皇陛下には二月二十八日昭和二年以來實に八年振りで近衞師團に行幸、諸兵を御親閱遊ばされた、この日陽光天地に充ち滿ち絕好の行幸日和、陛下には御英姿嚴そかに御愛馬「白雪」に召され受閱部隊七百廿一名の捧銃奉迎の裡に同四十分竹橋の近衞師團司令部に着御、司令部樓上の便殿に入らせられ閑院參謀總長宮、梨本元帥宮、李王各殿下に御拜謁次いで大隊長以上の將校に謁見を賜ひ朝香師團長宮殿下より奏上する軍狀を具に聽し召された後同二時再び御乘馬にて營庭に臨御各種演習を御親閱三時三十分龍顏麗しく還御遊ばされた【寫眞は天皇陛下着御】

天地一杯の麗春

拗ねた雪は冬を送る挽歌だ 心配無用・駈足行進

春來りなば——若草もえる青春の喜びに亂舞する春の女神の姿もチラホラと近づくこの頃、意地の惡い冬が未だ己が天下とばかりに春の喜びを待ちかまへる大連人を憂鬱のドン底につきおとしてしまつた、支那大陸に發生した高氣壓が漸次蒙古に移動すると共に優勢となつてきのふから全滿一帶にかけて肌をつくやうな風が吹きまくつて氣溫を下し、今朝は零下六度といふ寒さに逆もどり、雪さへ交つて折角の日曜もサラリーマンにとつてうらめしい一日だ、ドンヨリとして山國の雪の朝を思はせるやうな冬景色、

「一體何時まで冬が續くんでせう」と觀測所に聞いてみると

「寒さは全滿に亘つてゐますが今朝の雪は旅大附近だけで極めて地方的なものですから程なく止むでせう、昨年は三月二十八日の雪が最後でした、大したことはないが、あと一回か二回降つて今冬も終りになるでせう、あとは段々と暖くなる見込です」

て、この寒さも今明日一杯と聲も明るく電話を通じて春を喜ぶ微笑が柔かく傳はつてくる跳梁する冬の姿もこれが最後だ、春は若草のもえ出づる瑞氣漲る若人の天下ももう駈足行進だ

七轉遂に起てぬ "大連の怪物"

依然更生望みなき新興倶樂部 身賣りの運命に逢着

役員間の暗闘が遂に理事長排斥運動と化し、加ふるに經營難で死線を彷徨してゐた市內小崗子不老街の滿人歡樂場新興倶樂部の異變は昨年末表面的に內訌鎭まり出願中の遊戲種目もやつと認可となつて更生の第一歩を踏み出したが、その後

依然 として現在の遊戲方法が滿人の嗜好に適せず再び門前雀羅の不振を續け最近では一日百名內外の入場者で收入僅か二、三十圓といふ有樣で從業員の給料はおろか電燈代支拂すら窮するほどの經營行詰りに逢着してゐる

從つて十數萬圓を出資し倶樂部經營の下請負をしてゐる滿人梁煥有氏外二名の出資者は最早役員の手腕に期待出來ぬと不平が爆發せんとする

形勢 にあるので、井上理事長以下役員が極力慰撫に努める一方關東廳に對し阿片吸飲、ダンスホール、麻雀等滿人向きの娛樂認可を奔走してゐる

しかし關東廳では合同前の遊戲場に對する社會の非難にこりて今回は愼重な態度を以て臨み殆ど固定的な方針を抱持してゐる現狀にあるので倶樂部の更生は目下のところ全く至難とされるに至つた、故に井上理事長ほか役員大部分は遂に倶樂部經營にサジを投げ最近內部の意見として

現在の機構下にあつては關東廳の方針を轉換さすことは不可能であり、さいつてこのまゝ

經營 を續けてゆくには一日經てばそれだけ缺損が增加し滿人下請負人の不平爆發を抑へることは出來ない、而して更生策としては內地有力資本家に倶樂部の權利物件一切を讓渡し新資本家の力を以つて關東廳方面を動かすより外はない

といふ有力な倶樂部讓渡說が擡頭してゐる、旣に一部役員間には四十萬圓程度なれば讓渡してもよいといふに肚裡決定したと傳へられてゐるが近く方針決定のうへ資本家の物色に着手する筈でいろんな意味から各方面の

注目 を浴びてゐた「大連の怪物」も遂に身賣の運命に逢着せんとしてゐる

荒鷲！十三機

陸軍記念日・關東軍飛行隊が 旅大の空で防空演習

關東軍飛行隊では三月十日の陸軍記念日に際し旅大上空で諸下機總十三機を以て佐野司令官自ら指揮官となり防空演習を行ふことになつた、右參加飛行機は偵察機四、戰鬪機六、モス三の計十三機でそれぞれ三月九日までに大連郊外周水子飛行場に飛來し十日旅大上空で各種高等飛行を演ずる筈で十一日各所屬部隊に歸還するとなほ司令官佐野少將は八日飛行機で來連の豫定

風呂屋を專門に荒し廻る優男

惡運盡きて鐵窓へ

市內連鎖街本町通り連鎖街浴場では最近頻々と浴客の衣類が盜まれ去月十八日には大連民政署勤務高橋忠次氏など洋服始めシャツ、猿股に至るまで盜まれさて歸る段になつて大困りの態であつたが、その他被害者多數に上つて居り所轄小崗子署では躍起となつて犯人嚴探中のところ三日午後二時二十分ころ同署刑事が埠頭待合所でかねて目星の男を逮捕取調べたところ遂に右犯行を自白するに至つた

右の男は原籍香川縣三豐郡和田原一二五番地住所不定無職元船員辻增男(二四)と云ひ昭和六年大阪商船學校を出たものであるが、失職して各地を轉々流浪する內惡事を働くやうになり、懷中には自から鞍山日々新聞大連支局員との名刺を多數所持してゐる等の點から餘罪多數ある見込で鋭意取調べてゐる

閱兵解散式

各地警察隊

【新京特電四日發】曠古の盛儀御大典中の新京市內外の警備應援の爲に來京大典前後數日中の警備の重任を果した首都警察廳ハルビン遊動警察隊、永吉警察隊、奉天省警察隊等合計三千名は四日午前十時から大同大街で解散閱兵式を擧行した午前九時四十分頃よりカーキ色羅紗服に金モールのついた凛々しい容姿で續々集合整列開式後次で長尾警務司長一場の訓示をなし終つて民政部次長葆康氏案內の修首都警察總監より慰勞の辭あり下に關東軍司令官代理總領事館代表等が閱兵を行つたが更に坂田警察隊長指揮により分列式をなし午前十一時半終了解散した因にこれが應援警察隊員は四日一日は休養し五日六日兩日中にそれぞれ原隊に歸還する筈である

歌劇慰問團

けふ來連す

バリトン歌手として聲名ある黑田謙氏、往年淺草で田谷力三等と共に歌劇全盛時代を出現せしめた清水金太郎氏未亡人聲樂家清水靜子女史、壬生瑞志女史の一行三名は第五回慰問班として、約一ケ月の豫定で沿線各地の將兵慰問のため四日入港あめりか丸で着連、船中黑田氏は折柄の吹雪に「隨分寒いですね」といひながら語る

今迄の慰問班と違ひますのでどんな風にやればいゝかと惱んでゐます、從來耳で聞くものが多かつたやうですから私達は歌劇を中心として耳で聞くものでなく目で聞くものをやりたいと考へてゐます、幸ひ私もバリトン歌手として調子の強いものばかりやつてましたから兵隊さんに喜んで貰へるんでないかと思つてゐます、壬生さんはこの他新舞踊もやられます(寫眞は一行)

高橋、木原兩辯護士歸る

映畫館紛擾問題に關聯し館主篠崎豐彥氏と折衝のため先月廿五日發の飛行機で別府に赴いてゐた高橋雅兎喜、木原鐵之助兩辯護士は呉越同舟よろしく四日入港あめりか丸で歸連した、木原辯護士に聯樂館工事請負人八木氏の遺兒が紛擾による工事費未收のため生活に困却せるを解決せんがためであり、高橋辯護士は館主が訴訟を受けてゐるのでそれぞれ二日間に亘つて篠崎氏と會談したものであるが交々語る

この問題は非常に複雜して居り分裂また分裂と八幡の藪知らずといつたやうなもので、解決は至難だと思ひます、結局解決方法としては關係者が皆私慾を離れるといふ以外に何物もないといふことを發見したやうな次第です

阿片密輸の摘發賞與

總局で下附

【奉天特電四日發】鐵路總局では國線に於ける禁制品の密輸を嚴重取締ることゝなり、その第一着手として阿片密輸の摘發を施行すべく手續中であるがこれを實施するに當り路警に對する摘發賞與に對しては滿洲國より摘發物の時價により總局へ一定額の下附あり、總局としては路警の摘發を獎勵する意味から摘發賞與を出しその目的を達する意向である

自轉車專門の泥棒捕る

三日午後十時二十分頃小崗子署刑事が管內大龍街一〇三番地先を密行中擧動不審の支那人を發見本署に連行取調べたところ、右は原籍山東省濰縣住所不定無職張鴻文(二五)と云ひ去る二十八日市內惠比須町一三一番地德山號方の自轉車を手初めに自轉車專門に泥棒を働いてゐた旨自白した、餘罪多數の見込で引續き取調べ中

滿洲へ逃亡

大阪恐喝事件

【東京特電四日發】大阪來電に依れば大阪府刑事課はこの程恐喝事件で尼ケ崎ダンスホールパレスの支配人大竹新藏の妻ハル外數名の連累を檢擧したところ大竹はモルヒネ、ピストル數百萬圓の密輸入犯人であつた事が判つたが、彼は檢擧にさきだち滿洲へ逃亡したので直に滿洲各地に手配中である

慰問班の御難

皇軍慰問班の黑田氏御難——四日入港したあめりか丸で勞働許可證を持つてゐないところから送還された原籍山東省威海衞于振江(三五)は豫てから盜癖あり注意人物として監視されてゐた男だが、航海中の退屈にそろそろ惡い癖が出て同船が黃海航行中の三日午前九時頃黑田氏のキャビンに忍び込みオーバを失敬、船の毛布と一緒にくるんで三等室で大きな顏をして煙草を吹かしてゐたが船長以下が大搜査の結果とうとう捕へられ入港と同時に水上署へ

天氣予報

五日 北西の風晴時々曇

各地溫度 四日

	午前五時	午前十一時
大連	零下六度	零下七度
旅順	同 六度	同 五度
營口	同 九度	同 五度
奉天	同十一度	同 六度
新京	同十七度	同 八度
新義州	同十二度	同 四度

新講談

丹下左膳 (35)

林不忘作　小田富彌畫

文珠の智慧(六)

拗れ者といふと、變につむじ曲りか、さもなければ卑屈な人間が多いけれど、この蒲生泰軒先生のやうに、とても賑かに世の中を拗ねちやつた人物は、ちよつとほかに類がないであらう。

一たい人間には。

ちやんと家庭を營み、一定の住所を有ち、確たる職業に就き、それ相應の社會的地位を保つて行かうとする、謂はゞ市民的なおもての生活の陰に。

一面……。

兎もすれば無常を感じ、隱遁を好み、一笠一杖、全國の名所寺社でも行脚して歩いたら、さぞいゝだらうと思ふやうな、反世間的な放浪的な氣もちがあるものです。

人によつて、その思ふ度合ひは違ひ、また、考へのあらはれ方も異なりますが、だいたい人間は、ことに東洋人は、誰しも、この現實の俗な責任と、それに對して反動的な、無責任な逃避を欲するこゝろと、内心、この二つのたゝかひに挾まれて生きてゐるといつていゝ。

ですから。

こゝに。

初めッからその社會生活を拒絕してゐる人があつたとしたら、その人は或る意味で、素破拔けた豪い人だと言はなければなりません。

誰だつて、さうでせう。

會社や役所へ出て、上役にペコ／＼し、上役はそのまた上役にペコ／＼、お世辭でないやうなお世辭を言ひ、同僚には二重三重の氣兼れ……お金持はお金の無いやうな顔をするし、金のないやつは金のあるやうな顔をするもこんなイヤな世の中に、岩矢絡めにされて生きてゆくよりは、サラリと利慾を棄てゝ、いゝ景色でも見ながらブラ／＼野山を歩いたはうが、よつぽど好いにきまつてる。

わが泰軒居士は、それなんです。

只。

捨てべき利慾も、氣兼れも、はじめから持ち合はせない蒲生泰軒「俺は、仕たい事をするだけだ」といふのが、先生の信條であります。

だが――。

これは、仕度い放題のことをするといふのとは、だいぶ違ふ。

してはいけないことは、常に、決して度くない人にして、初めてかう言ふことが出來るのです。

してはいけないことを仕たくないのが道德で、していゝ事をするのが自由だ。

泰軒先生は、これが完全に一致してゐる。さぞサバ／＼した心境でありませう。

一升德利を枕に、いつも巷に晝寢する蒲生泰軒、その海草のやうな胸毛に、春は花吹雪、夏は青嵐、秋の野分、冬の木枯が吹き來り、吹き去つて、洒々落々と哄笑ひながら、一生を弱い者の味方として送つた人です。

歷史には名は出てゐなくても、隣家の大將、裏の姐さん、お向うの兄ちやんには、神のやうに、父のやうに親はれ、敬はれたんです。

泰軒はこれでいゝのだ。

長々と餘談にわたつて、まことに恐縮ですが――。

しかし……今を時めく南町奉行大岡樣のお邸へ、かうして夜中に庭からやつて來るなんて、この泰軒のほかにはない。

「やあ、呼んだから來たぞ」

と先生は、暗い植込みの影の重なる庭から、ブラリと縁側へ上りながら、

「おゝ、化物が來てるのか」

愚樂老人をじろりと見やつて、埃だらけの長袢纏の裾を撥ね、ガッシと組む大胡坐――。

直木氏を憶ふ(下)

小田富彌

直木さんのサシエを描いて感心したことの一つは、立ち廻りの所などは、どうしても原稿を繰返して讀まぬと、どちらが斬られたのか分らない、斬り方が目にも止まらぬ速やさで、本當の生命のとりやりはかくもあらうと感ずる凄みとスピードがあつた。また原稿を書くのも早くて、これも大阪時代私と枕をならべて寢たが、夜の十一時から翌朝までに七十枚からブッ飛ばした精力には全く驚くの外なかつた。

「苦樂」には武林無想庵と香西織江等のペンネームを使つて盛んに書いたもので、それから直木さんの原稿の事で面白い逸話がある―といふのは「サンデー毎日」へ續き物を三十枚ばかり渡して直ぐ原稿料を受けとり、さて曰く「この原稿は少し氣に入らぬところがあるから一寸この儘にしておいてくれ」そして直ぐあとから全部書き直したものを持つて行つて前の原稿を取り返したことがある。金にも困つたのであらうが、原稿の二十枚や三十枚何の苦もなく書けたのであらう。こんな所にも直木さんの面目躍如たるものがある。

私には、どうしても直木さんが亡くなつたやうに思へない、然は云はない、せめてモウ四五年、存分に書いて貰ひたかつた。それだけが殘念に思ふ。

直木三十五氏、既に亡し、あゝ

(告別式の日に)

キネマと演藝

滿鐵大典映畫 ご鏡泊湖撮影

滿鐵弘報係撮影班は滿洲國大典の實況をカメラ四臺を以て記錄的に撮影し、これを東京に送つて目下上京中の芥川光藏氏の編輯でPCLにて現像錄音しサウンド版とするが、一方新京にある撮影班は既報の如く將來の國立公園候補地と目される鏡泊湖の風物撮影のため近日新京を出發する豫定である

うわさ話

新興の「さくら音頭」は關西、關東の二版で「さくら音頭」と「櫻ばやし」で主題歌もキングとテイチクだつたが▲その後題名は「さくら音頭」レコードはテイチクに統一されたが▲映樂館では松竹の主題歌であるコロムビアをかけて「何でもよろしい氣勢をあげて置きさへすれば」と涼しい顔をしてゐる▲また常盤座では新天勝一座が日活の主題歌ポリドールで上演してゐる事實こう混戰になつては「さくら音頭」合戰も主題歌なんかにこだはらず興行的には早い者勝ちになりそうなので各館とも秘策を練つてゐる▲最近見たい映畫が三つ――パ社の「或る日曜日の午後」と「妾は天使じやない」それにフォックスの「アメリカ祭」この三本のうちウエストの性的魅力を呼び物にする「妾は……」以外は興行成績を懸念して餘り氣乘りせぬらしい▲殊に「アメリカ祭」はプリントが來てゐるのに「祭」の題名は由來興行成績が芳しくないといふ迷信?も手傳つてか各館とも手を出さぬらしいが▲スマートな映畫で洋畫ファンへ奉仕のつもりで思ひ切つて上映する館が一つ位あつて欲しいものだ

(日刊)　昭和九年三月五日　滿洲日報　(月曜日)　第一萬十九號　(一)

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價　一部金五錢　一ヶ月金一圓二十錢　郵稅金十五錢
廣告料　普通一行金一圓三十錢　特別一行金二圓六十錢　場所指定二割以上加算
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　木村武雄

發行所　大連市東公園町三十一番地　株式會社滿洲日報社　振替口座大連六〇番

政變氣構へ一寸一ぷく

閉會が近づいて重要法案目白押し

選擧法案は握り潰し確定

"綱紀"に免疫狀態

【東京特電四日發】議會の會期は剩すところ二十日となつたので兩院とも最早閣僚に對する綱紀問題も一段落となし政策問題の審議に移る筈であるがなほ一部に二、三の閣僚攻擊を續ける向がある模樣である、政府は議會の審議を政策問題に向けるため殘れる重要法案即ち米穀需給および外米統制特別會計法案、産金保有法案、通商獨裁法案等の提出を急ぐと共に目下審議中の治安維持法改正、選擧法改正の兩案および追加豫算の通過に努力するであらうが、いづれも議論の多い案件であるため殘り少ない會期中に全部通過は期待されず選擧法改正案の握り潰しは最早確定的であり、その他にもこれと同じ運命に陷るものも生ずるであらうが要するに議會は今後節季働きの狀態ですべてスピード・アップされやう

現内閣支持せん

國防關係の諸政策を遂行せば

最近の軍部の空氣

【東京四日發國通】最近に於ける政局の推移は軍部の動向如何によつて重大影響を與へてゐたが、林陸相就任以來軍部は國防上の問題に關する以外は政治上の問題に干與することは嚴重に戒心する態度を以て進み只管部内の統制を期し人心の安定を策してゐるので、過般まで現政府の綱紀問題に不滿強硬意見であつた軍部内一般の空氣も最近著ろしく緩和し首相が議會終了後國防に重大關係を有する農村問題、思想問題、教育問題等の重大政策の解決に邁進するならば更に齋藤内閣が存續するも差支へないとの意向を下し消極的ながら齋藤内閣支持の態度に傾いてゐる

けふの議會

●貴族院●　【東京四日發國通】五日の貴族院は午前十時より本會議を開き直ちに日程に入り法律案八件を順次上程委員附託さする外請願二十二件を報告する、尙午前十時より豫算第一から第六までの分科會その他の分科會を開く

●衆議院●　五日の衆議院は本會議なし午前十時豫算、決算、衆議院議員選擧法の外四案、午後一時より私鐵買收其他九件委員會が開かれる

滿洲國承認の意を體し

波蘭公使來京

【新京四日發國通】駐日波蘭公使ミチエル・モンスキー氏は四日午前七時新京に到着ヤマトホテルに少憩後午前八時三十分北鐵線でハルビンに赴いた、公使はホテルで語る

余は滿洲國を承認せんとする本國政府の意圖を體し、視察の爲め滿洲に來たものである、ドイツ政府は既にクノール商務官を派遣し滿洲國承認の意思あることを示してゐるが、ポーランド政府もドイツに先じて滿洲國を承認しようとする意向を持つてゐる、ハルビンには四、五日滯在しポーランド領事と承認問題について充分意見の交換を遂げる豫定である、歸任後直ちに本國政府と打合せた上聯盟との關係はあるが出來るだけ速かに滿洲國の承認を實現したい、滿洲國の帝政實施については余は滿腔の祝意を表して止まない、新皇帝と謁見したいが時間のないのが殘念だ

帝都東京の慶祝畫報

(上)は靖國神社に帝政奉告參拜の滿洲國曹武官と隨從秘書官　(下)は滿洲國公使館庭園におけるレセプション

英讓歩せぬ限り

日英綿業會商決裂

大阪聯合委員會協議

【大阪四日發國通】第四次日英會商に處すべき我最後方針決定のため綿業の五團體聯合特別委員會は三日午後二時より綿業會館に開催まづ阿部委員長よりイギリス側代表が關稅自主權を無視し第三國市場に於ける日英綿布の數量協定を固執し一方的な日本品の輸入制限を要求して讓らずために二十數回に亘る岡田、バーロウ兩代表の私的折衝、前後三回の本會議も徒勞に歸し何等局面轉換する所のなかつた結果を詳細說明し之が代表引き上げの時機並に善後策につき愼重協議した結果

一、半歲餘に亘る折衝にも拘らず日英兩國代表の意見一致せず實行不可能のイギリス側原案を中心に此の會商を續行することは兩國にとつて無駄な努力であるが會商決裂の責任廻避の爲め既定方針を堅持しイギリス側より新提案があれば會商を續行すること

一、右の趣旨に則り駐英代表部は依然之を存置し代表即時引き上げは之を避けイギリス側よりの會商中止の提案を待つて之を行ふこと

と意見一致し直にこの旨岡田代表に訓電した斯くて七日の第四次會商に於てイギリス側が誠意ある讓步案を示すか或ひは兩國政府が居中調停に乘り出すに非ざれば半歲に亘つて會議折衝を重ねた日英綿業會議も實質的決裂をなし自然的解消となることは最早確定的となつた

"現地調停に日本政府が動かう"

イギリス側高を括る

【ロンドン三日發國通】大阪に於ける日英會商聯合特別委員會の決議に關する報道は三日午後非公式にランカシヤ綿業團にも達したがランカシヤ綿業團では右決議によつて從來の意見を變更する必要は生じないとの強硬な態度をとつてゐる、ランカシヤ綿業團首腦部は日英會商聯合特別委員會の決議に關する報道は接受したが岡田首席代表から通達されるまで公式とは認められない、われ／＼は現在の行き詰り狀態を打開するものならば如何なる對策にも耳を傾けやうとするのであるがこの決議では何等再考の餘地がない

ランカシヤ綿業團ではかく強硬態度を示しつゝ日本政府が協議會決裂の阻止のため介入するものと期待してゐるらしいがロンドンの日本大使館では既に紡聯本部が從來の主張を堅持する旨決議した以上ランカシヤ綿業團で折れて來ない限り現地に於ける調停は不可能と見てゐると解せられる

物別れか出直しか

三宅代表の談

【ロンドン三日發國通】日英綿業協議會に關する紡績聯合會大阪本部の決議文は三日午後二時ゴルブナー・ハウスの日本代表部に到着した、代表部では右決議に接し俄然緊張、愼重協議を遂げたが代表部でも最早日英協議會に全く見切りをつけた樣子で協議後三宅代表は次の如く語つた

日本代表部の態度は不變だ、飽まで既定方針で進むのだから日英協議會の前途はランカシヤ綿業團の出方一つにかゝつてゐる併しランカシヤ綿業團も再考の餘地がないといふから協議會は次の水曜日とならざるを得ない日英兩國代表ともこの土壇場まで來ては將來出直すことがあるにしても一旦協議會を打切る外ないと思ふ、只殘る問題はこの結末をどうつけるかだ、物別れとなるか又は一と先づ打切り機會をみて出直すといふかこの點も要するにランカシヤ綿業團の態度如何にかゝつてゐる

通商條約委員會を設置

南京政府で

【南京三日發國通】南京政府は今回實業部内に通商條約委員會を設置し、英支兩國並びに米支兩國間の通商條約改訂問題の對策を考究せしめる事となつた

英ソ新通商條約調印

三日正式に

【ロンドン三日發國通】英國外相サイモン氏は三日過般成立した英ソ兩國間の新通商條約に正式調印した、同條約は三月中旬より効力を發生するものとみられる

岸田市助役留任懇請

旅順各町有志

岸田旅順市助役の辭表提出は市民にとつて多大の衝動を與へ三日夜各町有志數名は岸田氏を自宅に訪問極力留任方を懇請したが岸田氏の意志頗る堅き模樣で有志は第二段の對策を講ずべく辭去の上更に四日午後一時某氏宅で第二回の有志會合を行ひ種々協議を重ねた、その結果五日夜聯合町内會臨時總會を開催せんとの氣運に向いてゐるなほ乃木町三丁目町内會外二、三町内會では極力岸田氏の辭意を飜へさしむべく堅き決意を以て聯合町内會幹事迄慫慂する所があつた

はるびん丸船客

【門司特電四日發】六日大連入港豫定のはるびん丸主なる船客諸氏　住友アルミニユーム社柴田孫兵衛、天理教滿方徳郎、二等軍醫正安藤快平、會社員中西三郎、日清製油重役本多兵一、會社員進藤徳次、日露協會監事田中清次郎、同主事關根齊一、元鐵道省工作課長山下興家、日滿中央協會理事長加藤宗次郎、住友工業社員南部直正、滿洲電信電話會社文書課長瀨田常雄、齋藤半九郎、坂本種吉

再生至難

國際軍縮會議

【ベルリン三日發國通】瀕死の一般國際軍縮會議の再回生を期し英國代表イーデン國璽尙書がパリ、ベルリン、ローマ間を往來して獨、佛、伊三國政府と重要協議を遂げたが、フランス政府は強硬に自國の主張を堅持して讓らず外相バルツーの如きは下院外交委員會に於て早くも英國政府の調停案に反對を言明してゐるが、一方ドイツ政府も斷然非妥協的態度に出るものゝ如く政府筋では三日英國政府が今後更に軍縮問題に關して調停を圖ることは全く無用だとの強硬意見を表明した

英國駐支公使

【南京三日發國通】新任英國支那公使カドガン氏は三日夜上海發南京に赴いたが來る六日信任狀を捧呈する豫定で公使の來任により英支通商條約改訂交渉も近く開始の運びに至る模樣である

産業經濟工作より軍事工作に主力

西尾新參謀長の經綸

【東京四日發國通】關東軍の對滿工作は帝國の不動の國策に出發してをり參謀長の更迭あつても根本に於て何等の變化を見ない筈であるが但し西尾新參謀長としては三位一體の强化により産業經濟工作よりも當分主力を治安維持の軍事工作に置くこと、軍事以外の産業經濟の諸工作には一層重點主義を明かにすることを決意し一路邁進するものゝ如くである

文官登用實現か

依然小野前大藏次官が有力

關東軍特務部長に

【東京四日發國通】關東軍特務部の構成に就いては議會でも種々論議されてゐるが陸軍では現在特務部長は關東軍參謀長が兼務してゐるが官制に於ては同部長は文官を充當する事が出來るので今回陸軍異動に於て參謀長の更迭を機として陸軍中央部は文官出身の適當なる人選を得て特務部長の就任に充てんと考慮し、元大藏次官小野義一氏の如きは最適任者として内交渉されてゐる模樣である

故山縣元帥の極付"饒舌らぬ副官"

西尾關東軍新參謀長の片貌

俊英揃ひの陸軍異動

【東京特電四日發】近く行はれる陸軍異動は林陸相の人事政策の苦心が相當に現れ、軍部の各種勢力關係の消長に少からぬ影響を齎すものと見られたが、全般的のことは姑らく別として之を我軍部の滿洲對策の上から見ても、頗る重要な意義が含まれてゐるものと見ることが出來る、それは單に關東軍參謀長の更迭のみでなく、本省に於いて滿洲政策を秉掌する軍務局長の更迭を見たことを注目しなければならぬ

◇小磯中將は曩に軍務局長として滿洲事變に密接な關係を持ち、次で次官となり更に關東軍參謀長に轉出してその卓越した政治的手腕を發揮した、此の人の後釜であるから相當の大物を据ゑなくてはならぬので現在我陸軍の俊髦を以て聞えた一人、建川美次中將を○○師團長から動かさうとする議もあつたが、風向きは變つて參謀本部の第四課長の西尾中將にお鉢が廻つた

◇西尾中將は鳥取の出身で、凡そ陸軍の閥とは緣の遠い方であるのみならず、今も總ての閥や系統から隔絶した存在である、大學を二番で出る俊才で頭腦が緻密明晰である外に、沈默寡言を以て夙に部内に異色を示してゐた、先年田中陸相時代にその秘書官をしてゐたが、一日、山縣元帥のもとへ使ひに行くと「喋らぬ副官とは君のことか」と揶揄された、それほどその沈默は有名であつた

◇部内で故武藤元帥と同型である、と此の人を見てゐる、又外柔内剛の人物の典型であるともいふ即ち應對は非常に柔かであるが一旦所信を固めたならば斷々乎として之を貫かねば已まぬ氣概と闘志とを有するのである、此の點から見ても、武藤元帥と小磯中將とは好個のコンビであつたが、豪宕な菱刈將軍とはむしろ西尾中將の方が適役のやうにも考へられる、殊に滿洲對策が今後地味に堅實に運行されねばならぬ秋に方つて此の人が選ばれることは何人も首肯するであらう

◇次に軍務局長となる永田鐵山少將は我軍部の逸材の一人であるが彼は小磯軍務局長時代その下に軍事課長として滿洲問題處理に懸命の努力をなした、彼は夙に歐洲諸國の實勢を視察し、國家の經濟的存立と發展の上に軍部が如何なる貢獻をなすべきかを講究し、此の目的のために軍部の動向を整一ならしむべく腐心して來た、所謂滿洲問題の解決は此の重要なキイ・ポイントであるとして、本省にあつて事變以來主として其の立案の衝に當つた、此の人が再び本省に歸り軍務局長として直接關東軍との連絡の樞要地に立つことは、我滿洲對策の上に極めて意義深いものであるのみならず、此等の俊英が相擧つて樞要部に擡頭し行く我軍部の前途を刮目すべきである

軍民の一致が肝要

"政治を知つて言はざる軍人"

西下の途　林陸相の談

【國府津四日發國通】林陸相は伊勢熱田兩神宮に就任奉告に參拜するため三日午後十時十五分東京驛發西下したが車中今議會で論議の中心となつた軍人の政治干與問題に關し左の如く語つた

自分は今日は日露戰爭當時とは異なり軍人が全く政治に無關心でゐるといふことは出來ぬと思つてゐる、今日軍隊に入營して來る壯丁は教育、思想など全く異つて來て居り又兵士の家庭の事情を査察するにしても將校として社會の情勢と關連して當然充分の關心を持たなければならぬので將校が農村問題や社會問題を研究することは必要であり、政治を知ることは惡い事ではない、併しながら一方進んで軍人が政治を談ずることはその分際を越える事になるので愼しまねばならぬと思つてゐる、要は軍民お互に相手をよく諒解しあふことが緊要である

ここに光あり 軍心一新の秋
將士聖諭を拜す
けふ宮廷において 滿洲國軍隊の榮譽

大元帥服召されたる皇帝陛下

【新京特電四日發】滿洲國皇帝陛下には五日陛下の軍隊に對し親ら大元帥たることを宣詔せらるゝと共に軍隊を以て股肱として倚藉せらるゝところある旨を諭示あらせられる、抑々滿洲國は建國三年にして早くも皇天后土の大命を拜承して皇帝陛下を仰望し奉ることが出來たのであるが而もその間國内に跋扈したる邊匪四方に蔓る醜草をば完全に討平し得たるものは何人の功績とすべきであるか、固より陛下の威烈の致すところであるが滿洲國軍隊の護國精神旺盛なるに職由すると共に日滿議定書の明示に從ひ日本軍隊の共力によるもの少しとしない、唯滿洲國既に成るといへども外侮を禦ぎ治安を保つためには大中至正の干城、堅忍不拔の軍隊が國として一日も缺くことは出來ないのであつて、茲に於て皇帝陛下には如上建國以來の軍隊の活動をみそなはせられその精神を宣揚し、第一には滿洲國軍隊は大元帥を元首と仰ぐべき陛下の股肱たることを明らかにし第二には滿洲國軍隊は飽まで嚴明純公にして祖國愛護のため死たゞも辭せざるべき軍心の涵養を旨とすべきを諭させられ第三には日滿議定書の儼たる存在を明識しこれによりて日本軍と親和共力し渾然一如の名實ある滿洲帝國の國防陣を堅めねばならぬ由を諭らせ給ふ次第である、尤も斯くして生る、軍隊は改編せらるゝあり改裝又は改稱せらるゝあり諸般の指揮系統が別に定めらるゝ外禁衛軍も新に設けらるゝなど體制の上の種々相はあるべきも右の三原則を奉じて個々それぞれ匪躬の節を致し、て陛下に朝宗し奉る決意卽ち一新されたる軍心なくば叶はぬわけである、この大旨を表徵するがため陛下は更に歩兵隊に五十四本騎兵隊に三十六本の軍旗を賜ふとのことである

皇后陛下と親しき御物語
公式の御儀を終らせられし 滿洲第一世皇帝陛下

【新京特電四日發】滿洲國第一世陛下には晴れの御儀を滯りなく終了せられた三日午後は御居室に於て晴れやかな早春の御庭園を窓越に眺めさせられつゝ皇后陛下と御睦じく御物語あらせられたと漏れ承るが、夜は八時から九時まで御庭園に於て煙花を五、六十發打ち揚げさせられ兩陛下共々に華やかに咲く七彩の星火に打ち興ぜられ瑞運丘の宮廷府は瑞氣滿ち平和そのものであつた

清朝遺臣に賜餐 きのふ宮廷で

【新京特電四日發】三日正午より第二日目の宮中饗宴が滯りなく終つて康德皇帝の御卽位公式の御儀はこゝにめでたく一切の終りを告げたが四日は正午より御大典參列のために來京中であつた舊滿朝の皇族及び蒙古諸王族など百三十名餘が宮中に御招待を受け賜餐の光榮に浴し午後一時半頃御英邁な陛下の龍顏を拜し奉つて退下したがこの日陛下には大元帥の陸軍通常服を召され出御遊ばされ侍從武官長張海鵬將軍、侍從武官石丸中將工藤侍衛官等扈從陪席した

西將軍承德へ

【奉天特電四日發】西〇團長は四日午後一時四十五分新京着溫泉ホテルに一泊の上五日午前飛行機で承德に歸任した

道院
滿洲國の宗教 二つの明星 【上】と世界紅卍字會

歷史と發展との代りに深さと廣がりに於て特殊な經濟文化的沈滯を遂げた支那及び滿洲の社會にはその裏面に隱然たる勢力を動かして迷信とも、宗教とも政治結社とも判別のつかない種々雜多な宗教團體が存在してゐるのであるが滿洲國人士間に注目すべき影響力を有つてゐるものに道院とその異體同心の世界紅卍字會とがある

一、起源

道院の起源は民國九年十二月山東省濱縣に於て洪解空、劉紹緣の兩名が祖神老祖の神怒に基く亂示（大本教の御筆先に類する一種の自動的記述である）に依つて「太乙北極真經」と名付ける經典を編集し道場を設け濟壇と稱したのがその濫觴と稱せられてゐる、民國十年陰曆二月九日江蘇省淮安の人杜秉寅なる者が有力な信徒四十八名を集め山東省濟南城內新街十二號に道院を開教するや二ケ年の間に一瀉千里の勢ひで支那全土に普及し、現在各地に百餘の道院と三百萬の信徒を擁しその勢ひ遂に海外に溢れて遠くパリ、ベルリンにも道院の設置を見るに至つた、日本にも大正十三年先づ神戸に道院が開設せられ、今日に於ては東京總院の出現を見、日本に於けるその基礎を確立したと稱せられてゐる

本尊は老祖と稱し天地萬物の始祖卽ち大道の根源であつて儒教にいふ道を人格化したもの、その聖像は民國十一年の春濟南の道院において張修如なる者が神體に感じて空中に現れたのを寫眞に撮つたものであるといはれてゐる、老祖は基、回、儒、佛、道の世界五大敎主と世界歷代の聖神佛仙を統べ信者はこの五大教を究め以て萬有の根源たる道を體得する事を目的としてゐるから、面白いことには、今日各道院を窺へば皆祖神老祖の牌下には五大教々主の位牌が安置されてあり、信者は各々自己の信教を捨てずに之を禮拜してゐるのを見出すであらう

民國十一年四月上海の道院が成立した時、各方面の代表者が集まつて人種、國籍に關係なく廣く世界の平和と人類の相愛を目的として紅卍字會なる慈善團體を作り差當り奉直戰の罹災者を救濟することを決議し、次いで十月世界紅卍字會として北平に正式に名乘り出たのであつた

二、紅卍字會の宗旨

世界紅卍字會は前述の如く道院の分院付設機關で、個人の修養機關たる道院に於て靜座內觀の修養を積み、更に紅卍字會に於て社會事業たる善行の實踐を爲すと云ふ仕組みになつてゐる

此の紅卍字と云ふのは太陽が世界を普く照す如く恩惠の及ばざる所なきことを意味すると云はれてゐる、卽ち紅は赤誠を現し卍は吉祥雲海と稱して佛相を象徵する

思ふに支那民族の如く利己に徹した「完成せる俗人」の社會にあつては赤十字の如き單なる慈善博愛の機關よりも寧ろ紅卍字會の如く個人の修養機關たる道院の附屬となつてゐる方が最も適當なのであらうか、兎に角今日支那に於ける社會團體中この紅卍字會程盛大なものは無いのである

三、組織

世界紅卍字會は「世界の平和を促進し、人類の災患を救濟して互助共愛に基き光明の世界を建設せんが爲め」種族、國境の差別を設けず、全世界的に會員信徒を包擁してゐる、會員たらんとする者は先づ道院に入りて三ケ月以上、自利利他念博愛渉致の修養を積んで後會員となり得る

組織は會員制度をとり會の維持費、會費、事業費等の財源は會員の醵出する會費、寄附金を主とし必要に依つて義捐金を募集する、醵金額及び會に對する功勞に依り（一）特別會員（二）名譽會員（三）普通會員（四）終身會員（五）學生會員の五種に分れてゐる

聖都を護れ
陸軍記念日當日
旅順の催し
空陸合作の模擬戰

來る三月十日擧行される第二十九回陸軍記念日當日の模擬戰に關しては此の程旅順市役所にて關係各代表者參集の上協議の結果大體左の如く決定を見、細目に亘つては目下旅順重砲隊において計畫中である

先づ當日は旅順少年團員が各戶に宣傳ビラを配布し午前十時半からは北島重砲隊長統監の下に警察機二機が周水子、旅順間を飛翔一機は鐵道線路に沿ひ旅順上空に於て都市爆擊を行ふがこれが爲め警察署と龍王塘、營城子に設けられた防空監視哨から警報が發せられると昭和園前廣場、市役所屋上、滿電屋上に在る高射機關銃隊は一齊に火蓋を切つて敵機を攻擊し同時にサイレン、梵鐘、白玉山信號所から市民に對し警報が發せられる、斯くて敵機の投下した爆彈は迎橋々畔大廣場に假設した獨立家屋に命中大火災を起し消防隊の出動演習が行はれ同時に再び敵機が投下した毒瓦斯の爲め中學校、衞戍病院、關東廳醫院看護婦は防毒覆面裝着の下に染毒者の運搬加療の大活動を行ふので、正に非常時の聖地旅順を護るに緊要必須未曾有の實演が行はれる、なほ當日青年訓練所員は交通整理班となり在鄉軍人團は演習狀況標示班となり大活躍を行ふ事となつた

地委聯合會 十二三日開く

【奉天特電四日發】全滿地方委員會聯合會では來る十二、十三の兩日午前十時より第十一回定時會議を奉天に於て開催する、全滿各地よりの提出議案は五十二件に達してゐるがその中主なるもの

一、滿洲國輸入關稅輕減に關する件
一、滿鐵借地の耕地料金率延長の件
一、產業銀行設立の件
一、農業移民促進のため商租案設定方促進の件
一、日滿郵政統制に關する件
一、土地貸下げ料減額撤廢延期の件
一、附屬地滿洲國接壤市街地防疫に關する件

その他中等學校增設、學級增加の要望と教育施設の充實が各地より提出されてゐるが事變以來各地伸展に伴ひ提出事項も時節柄注目されて居り當日は相當論議されるものと見られてゐる

職制改正に伴ひ
總局異動廣汎
但し人員は依然不足

【奉天特電四日發】鐵路總局の四月一日より施行する職制改革に四鐵路局制を採用し各路局に總務、經理、車務、工務の各處を設け車務處は運輸機務の二科とする各路局內に國路を司る所の機關設置が唱へられたが國線の運輸密度は滿鐵の三分の一內外であるに對し各種の機關を亂立するとを避け鐵路局との連絡上缺くべからざる所にのみの設置に止めることに決定又國線沿線の滿鐵情報機關の性質を有してゐる現在の鄭家屯、洮南、チチハル、吉林等の事務所及び四平島分處等は鐵路總局等の人的勤務が行はれてゐる現情よりして遠からず總局に移管するものと見られるに至り、かくて職制變革に伴ふ人事異動は當然廣汎に亘るが、これらの人事異動も既に成案を得、來る八日頃確定を見るはずで今回の異動により剩員を相當出すのではないかと見られるに至つたが四月一日よりは天圖線七月には京圖線の本營業を開始するので寧ろ人員の不足を感じてゐる

〃滿洲統治論〃 池田秀雄氏著

池田民政黨代議士は昨年初夏の衆議院議員團の一行に加はりその第何回目かの訪滿を試みた▲凡その代議士の訪滿が何を結果するかは結果せざるべからざるかは知る所でないが少くも池田代議士の場合にあつては着想のごとき一書を打成してこれを世に問うて居る▲本書は「この小著を來る三月一日を以て輝しき日に入らんとする滿洲王道國に餞す」と卷頭にあるによりて著者の意圖が忖度せられ▲著者の素懷が「頭より足の先まで王道政治を徹底せしむべき統治論を起草」するにありしとその「はしがき」にあるによりて本書の動機が揣摩せられる▲著者は本書に於て滿洲國統治の昨日を說き今日を說き而して明日を說いてゐる▲昨を說くに詳しからずと雖も今を說いて遺漏なきを期せんとしたるもの、如く▲而も明を說くに深く最もその肯綮を衝かんとする始終したりといはゞその說くところに立策の大義を樹立せんと大いに努めたる點を見のがすことは出來ぬ▲全篇五百頁十五章約百項目に亘る全文字悉く烈々たる光熱を發散せざるはない▲立策悉く大方の同意を強うることは能はぬにせよこれを參稽して得るところ少からざるべきは明らかである▲著者は自らいふ「一片耿々の赤心を一管の筆を託して世に問ふ所以である」と▲本書を閉してこの言の決して自他を欺くものでないことを知るのである＝一記者（池田秀雄著東京、京橋三ノ四日本評論社發行定價二圓五十錢）

旅順〃母の會〃

來る六日地久の佳節當日旅順第一小學校ではお母樣方と一緒に皇室の御榮を壽くべく兒童にも母性感謝の念を涵養させる爲め午後一時から講堂に於て「母の會」を開催し、左の如く學藝會を行ふ事となつた

▲第一部　唱歌（一男）舞踊（一女）劇（一男）唱歌（一女）對話（四男）唱歌（三女）劇（三男）唱歌（四女）對話（六男）唱歌（旅公）
▲第二部　唱歌（五男）對話（高男）舞踊（二女）對話（家政）舞踊（六女）劇（五女）唱歌（高女）

羽田鐵道部長

滿鐵々道部長羽田公司氏は關東軍小磯參謀長をはじめ今回の異動で內地に榮轉する軍部關係者に挨拶のため四日午後四時二十分發列車で新京に赴いた

大觀小觀

日本人が南北アメリカ移民として重寶がられる理由として數へられる特長▲其一は手先が器用で植物の芽の摘取りに適する事▲其二は腰を曲げたまゝ移行し得るので、田畑の草取りに能率が擧がる事▲此二事は、白人移民の到底及ばざる所と認められる、その原因を考ふるに一は先祖代々箸にて食事する爲め一は疊所の構造の爲めの訓練にある▲とは、先日移民を連れて行つた南米拓殖株式會社々長福原八郎氏の解說なり、古來早飯、早糞で養成された我々、意外な所が海外發展の强味になる、古訓おろそかになすべからず▲豐太閤の朝鮮征伐に方り、朝鮮語の出來るものが少いといふ難問題があつた▲鮮人に日本語をやらせれば差支ないとは太閤の太閤らしい解決案だつた▲事實、安國寺惠瓊の鮮地からの手紙によると、朝鮮人の少年に日本の着物を着せて召使ひ、「いろは」を敎へて日本語を使はせてゐるとある▲召使ひ候處、日本人よりもいさかしく候とあつて、頗る利巧だと褒めてゐるのも面白い▲但し太閤の平生持の扇子には、朝鮮や支那の地圖がかいてあつた外日常の支那語が平假名飜譯づきで書き込んである▲なさらい（お茶持つて來い）なちうらい（酒持つて來い）の類▲支那人まで日本語はだめと思つたものか、兎も角自分で移民の總帥として出かける氣だつたものと見える。

人事

▲飽田虎夫氏（關東廳理事官）四日午前七時四十分列車にて歸連
▲藤井崇治氏（關東廳遞信局長）四日入港あめりか丸で歸連
▲高橋猪兎喜氏（辯護士）同上
▲才津新造氏（電々會社文書課主任）同上
▲木原鐵之助氏（辯護士）同上
▲寺島由松氏（辯護士）同上
▲黑田謙氏（聲樂家）一行三名同上來連
▲林博太郎氏（滿鐵總裁）四日出帆ばいかる丸で富喜子夫人同伴上京
▲西脇豐造氏（滿鐵秘書役）同上
▲島崎靜馬氏（滿鐵秘書役）同上
▲大坪正氏（旅館事務所長）同上
▲前田直造氏（電々會社營業部長）同上
▲堀內正重氏（金州滿鐵病院分院長）同船にて外遊のため離連
▲須鼻㐮平氏（大汽船舶監督）同
▲太宰松三郞氏（滿鐵承德駐在員）四日午前九時發列車で赴任した
▲村上義一氏（滿鐵理事）四日午後四時二十分發列車で北行
▲羽田公司氏（滿鐵々道部長）同上
▲吉枝中佐（滿鐵囑託將校）同上
▲石橋米一氏（滿電常務取締役）同上
▲津田賢次氏（滿洲國國道建設局技正）同上

八相 投書歡迎（寄書は十行以內ですらさ…）

醫は營利の實證 M・I生

◇去る一月中旬午前九時半ごろ妻が突然心臟が！といつたきり呼吸が激しくなり打ち倒れたので仰天し早速春日町のA醫院にかけつけ來診を乞ふと只今留守と斷られ、更に附近のB醫院に走ると看護婦が頭から拒絕、苦しんでゐる病人のことを思ひ泣かんばかりに洋車を飛ばしC醫院にかけつけると今忙しいから後でと看護婦の無愛想振りです。

◇仕方なくD醫院に懇願したところ同院は「婦人科ですから西田さんに行つて見なさい」と奧に逃げ込んで相手になつてくれませんでした、一體どういふわけでせうか、急いだので私の風采が惡かつたせゐでせうか、苦しんでゐる病人のことを心配し歸つて見ると妻は幸ひ良くなつてはゐましたが近所の人が駈けつけるやら何やらで大騷ぎでした

◇急に襲ふ病人のあるとき醫師のかゝる態度はそれは間接であらうとも人間一人の生命をうばつたことになるのではないでせうか、ゆゝしい人道問題として醫師諸君の反省を促したいと思ひます。

秀堂氏へ 連鎖街事務所

◇弊商店街に就て何かと御注言を賜り有り難う存じます。

◇連鎖街と云ふ名稱は「大連連鎖商店の商店街」を略稱させて戴いて居るもので御座います、大連連鎖商店は合資會社で、連鎖街の全店舖を所有して居り、この點で單に軒を並べて居ると云ふ以上に連繫をもち又商賣上の事に關しても事情の許す限りお互に協同一致の精神でやつて居ります。

◇連鎖商店卽ち米國のチエンストアを直譯したものと御解釋になるお方も御座いますが、當商店街は獨自の組織の下に各店連鎖した形態を具へて居りますので決して適切には思ひませんが連鎖街の名稱を用ひて居る次第で御座います。

◇其他御敎示の各項に就きましては今迄も屢々當街內で協議致して目下鋭意硏究中で御座います故晉に之れ等の事のみでなく種々の點で出來得る限りの改善を致しお客樣方の御愛顧にお副へ申上げたいと心懸けて居ります。

◇何卒今後もお氣付きの點は御忌憚なく御敎導を仰ぎたいと存じます。

恭祝

大滿洲國第一世皇帝登極大典

甲戌の春、三月一日、茲に滿洲國建國史上に一新紀元を劃し、溥儀執政閣下には、三千萬民衆の切願を容れ、國都新京に於て御即位の盛典を擧げさせらる。滿蒙の天地は國基完成の希望に輝き、勇躍歡喜に滿ち溢る。

大滿洲帝國新皇帝、天資英明、聖德宏大、建國以來夙夜新興國の政務に精勵せられ、內政刷新、外交確立、產業開發、眞に王道樂土の惠澤を垂れ、民衆の敬仰と感激の中心たり。

今や、滿洲國の本格的建設成り、愈々日滿提携の上に重大意義を加へたるに際し、年來仁丹に對する深き眷顧を想ひ、念更に欣賀に勝へざるものあり、謹みて慶祝の衷を伸ぶ。

懷中藥仁丹本舖　大阪　森下博營業所
仁丹滿洲總代理店　大連　日本賣藥會社

消化素　口香料　四博士責任劑　仁丹　ポケット必携

日滿大團結の表徵
滿洲容器
銀粒仁丹三十錢に無代添附

今日建國完成に際し唯一絕好の紀念品
此際！日滿人殘らず是非一個宛を!!

五彩の滿洲國旗を表徵する優美精巧なる仁丹入れ
好評嘖々!!到る處人氣の中心!!
今スグ御求めを……

滿洲容器　實物七倍圖

銀粒仁丹の活用

胃腸强健 は實に日常保健の鐵則、仁丹で胃腸を整へて潑溂たる生活機能を養はれよ

口中芳薰 は社交上唯一の條件、常に仁丹を口にし口熱惡臭を除去し、芳香を漂はせる事は社交人の義務

流感豫防 には獨特の殺菌力を持つ仁丹を此際口中せらるゝが最も簡便且つ合理的

奉天美の邪魔もの 電車を取外せ
漸く眞面目に叫ばる

【奉天】奉天の都市美觀問題は從來より屢々論ぜられてゐたが滿洲國も帝制となり今後滿洲國視察團が頻繁になると共に續々押しかけて來ると豫想されてゐるが、先づ第一に驛に出て馬車、洋車の不潔さうるさい事には一般の最も困らせられる事であるので奉天着の第一印象を好くする意味から奉天驛前の美化は急務とされてゐる、之に對し地方事務所の移轉と共にあそこを店舗として貸付ける事は第一問題でありそれに次いで電車の撤廢が叫ばれてゐる、現在電車を利用するものは殆ど滿人のみで車體は古く、しかも電車線は市の片隅ばかりを走り奉天驛前の都市美を破壞する事甚大だと云ふのである、奉天驛前の美觀問題に對し驛瀨藤助役は次の如く語る

奉天に降りての第一印象は決してよくない、驛前にきたない洋車があり、馬車の叫び聲を聞いたら誰でも不快に感ずる、この問題も以前から屢々論議されたが未だ好い方法がなくて困つてゐる、又驛前に店舗の少い事が面白くない、きたない赤煉瓦のお役所では感心しない、地事の移轉勿論結構である、あそこを店舗にしたらきつと奉天美を增すだらう、それから露店の撤廢電車の撤廢急務だと思ふ、驛の方でもなんとか新築して欲しいのだが豫算問題からどうしてもうまく行かない、いづれにしても驛前の美化は奉天として第一の仕事であらう

ウナ電が來ない話
用してほしい

【奉天】急用の電報を打つたが受信人に屆かぬ話——大奉天鐵西工業地は附屬地外となつてゐて市政公署の行政下にあるが最近同地の某工場に京城から電報を打つたが受信された模樣なく手紙が到着して始めて京城から電報を打つた事が判明し各關係方面に問ひ合すも電々會社の電報局ではさうした電報は受信取扱ひがないらしく手紙は到着するが電報が屆かぬと云ふ狀態で場所が附屬地外であるため恐らく行方不明となつたのではないかといはれてゐるがこの調子で電報不着が繰返されるとすれば鐵西に工場を有する者にとつて非常なる脅威で工業土地會社と工場者側では鐵西にも郵便局を設けられるやう希望してゐる

鮮人の正業轉向
大罕の水田開放に 耕作希望者續出

【四平街】市內益盛街坂本直吉氏は失業鮮人救濟の目的を以て通遼縣城內南街居住敖鞏豐より鄭通線大罕の水田耕作三百天地の商租契約を結び此程其の經營方を鄭家屯領事館に出願したが同館に於ては同地に於ける鮮人の大半が禁制品の取扱をなして居る現狀なるを以て之等鮮人の正業轉向を爲さしむべく該商租に對し鮮農小作を條件とし大使館に稟申中の處這回許可されたので愈々今春の解氷期を俟ち耕作に着手すべく義日來鄭家屯鮮人居留民會において種々協定をなす處があつた、かくて同地鮮人に同耕作の希望者續出し目下三十一家族約百五十名の申込を見るの盛況にあるが事變以來職を失ひ窮乏のドン底に喘ぎつゝあつた折柄とて坂本氏今回の起業は恰も轍鮒も水を與へ枯骨に肉を附する救濟事業として同地一般民衆より好感を以て迎へられてゐる

大々的に 旅客誘致

【奉天】旅行シーズンとなり弗々內地より旅行團が來奉するがこれに對し奉天驛では從來驛案內において扱つてゐたが今年よりは弘報係なるものを新設し旅客の誘致、團體の取扱ひをなし又參考資料の提出をはかる等大々的に旅客誘致につとめる筈である、右に對し瀨藤助役は語る

今までは消極的であつたが今年からは積極的にやりたいと思つてゐる、そしてその手始めとして奉天の人々に「旅」と云ふ事の樂しみを認識を深めさせやうと思つてゐる、その爲めに奉天に、三四の旅行團隊があるがこれを一纏めにして旅行協會の如きものを造りたいと希望してゐる、今度の弘報係と云ふものも從來より大々的に仕事をやるために設けたものだから大いに利

飛行機も參加 一大防空演習
陸軍記念日の當日 遼陽の豪華な催し

【遼陽】遼陽に於ける陸軍記念日は數年前迄師團の駐剳地として納骨祠の祭典も莊嚴に執行され模擬戰も大々的に擧行せられ一般の士氣を鼓舞せられて居たが時變後は軍隊の駐屯もなく祭典も物淋しく感ぜらるゝに至つたので地下に眠る二萬數千の英靈に對して甚だ申譯がない假令軍隊の駐屯はなく共陸軍記念日は意義あるべく執行せねばならぬと貴志軍犬育成所長が率先して當日の祭典を初め催しに付き主唱された結果地方事務所會議室に於て軍部側を初め時局委員其の他會合協議の結果當日午前九時半から納骨祠の祭典を執行し十時四十分から北廣場を中心に防空演習を實施することに決定した、防空演習には奉天から飛行機の飛來がある豫定で飛行機が奉天を離陸する時市民一般に消防隊のサイレン長聲一聲を以て周知せしめる

が飛行機よりの爆擊に依り消防隊の建物は火災を起し又昭和通北廣場附近に毒瓦斯が放散される從つて染毒地の消毒負傷者の收容等の演習を實施するもので演習參加者は在鄉軍人、警察官、市民、家政女學校、靑訓生、消防隊等であるがその他在住者も一人殘らず當日所定の位置で參觀されたしと當日演習要領は左の如くである

▲演習の目的、全然豫備知識を有せざる遼陽市民に對し空襲防護の一般を指導し且其一部を實施訓練せんとす▲訓練課目、爆擊に依る火災の消火、負傷者の收容、空襲に對する市民の防護染毒地の消毒、催淚瓦斯の放散▲演習統監貴志軍犬育成所長、統監部附牧田警察署長、西守弘鄉軍分會副長、庶務部長本橋庶務係長、宣部部長渡邊遼鞍每日社長、進行部長川澄一等獸醫、警戒部長阿部警務主任、消防部長平原監督、消毒部長板橋藥劑官、救護部長青山衛戍分院長

以上演習從事員主として救護班は七、八、九の三日間小學校に於て青山分院長の指導で豫習をなし消毒班も其の前日板橋藥劑官指導の下に豫習を行ふとなほ演習終了の後零時半から公會堂において官民合同の祝賀會が開催されるが殘櫻會員の全部は貴志育成所長と青山分院長の兩氏が招待する上に祝賀會に兩氏から淸酒一樽を寄贈すとこの外時局委員會では記念徽章千五百個を調製し市民に頒布し賣上金で傷病兵に慰問品を贈呈する計畫もあると

社員親睦のため 演藝會を創立
奉天の滿鐵獨身社員に議起り 目下具體案を協議中

【奉天】奉天に於ける滿鐵青年社員は雲霞寮、旭寮その他市中に散宿してゐる者合せて三百名近くあるが、彼等の慰安としては俱樂部、映畫のみにして何等獨身社員合同の纏まつたもの無く獨身社員相互の融和を缺ぎ事務上又面白くないとの見地から今回獨身社員の主だつた人々の間には獨身社員會青年部及び社員俱樂部後援の下に演藝會の如きものを開催し、獨身社員間の融和親睦をはかると共に青年滿鐵社員の意氣を旺ならしめんと目下具體案を協議中である

五ヶ年計畫を樹て 桑樹の增植を圖る
旅順農會本年の飛躍

【旅順】旅順農會に於ては過般開催された總會に於て當局より十二分の說明とその緊要必須の事業なる旨を聽取した結果今回一大飛躍を敢行すべく空地利用桑樹增植五ケ年計畫を立て養蠶獎勵に依り農家經濟の緩和を計る事となりこれに對する第一期の豫算も通過したので先づ第一着に方家屯會、王家店會、三澗堡會より始め漸次他の地方へも及ぼす事となつた卽ち右の方法として

一、五ケ年計畫とし管內農家總戶數一一、〇〇〇戶に對し約一割の戶數に桑樹を植栽せしむ

二、桑樹は接木苗とし一年間假植育成の上二年苗として一戶當三十本を限り無償にて配付畦畔の空地に植付せしむ

三、仕立法は拳式仕立として配布植付後三年間剪枝其他に付き指導桑樹の委形を造らしむる

その他三項目にて管內六會に對する植付戶數は二百戶植付本數は六千本であるが右計畫完了五ケ年の成績を見れば卽ち桑樹一株より春期五〇〇匁秋期三〇〇匁收葉三株につき二四貫を採集し上繭一貫五〇〇匁を生產年と共に增產し一、〇〇〇戶より一、五〇〇貫を生產し一貫の價格四圓とし六千餘圓となる見込みである

日本製玩具全盛
今後益々需要增さん

【奉天】支那方面から滿洲人向として輸入されてゐた玩具類は輸入關稅の徵收に現在では殆ど杜絕し日本物玩具が値段は安く堅牢であり滿人の兒童に向くところから最近滿洲における玩具一切は日本製で占められ都會は勿論のこと農村にも進出してゐるがハーモニカの如きは今後滿人小學校で音樂素養のために教育材料として使用されるに至れば單調の樂器で音律が滿人の嗜好に適するから販路が擴く有望視されてゐるなど今後滿人向玩具と樂器類の研究改良が必要であらうといはれてゐる

滿鐵音樂會 奉天に支部

【奉天】滿鐵音樂會では奉天における同好者が多數あるに鑑み今回奉天に支部を設け當分の間、マンドリン、ギターの二科目の教授をなす事となつた

講師は大連本部伊藤十五郎氏、會費一人月一圓、練習費として一科目二圓、練習日一週一回火曜、場所秋町員クラブ

獨一般からも希望者には教授する筈である、申込みは社會係

提出議案は 五十二件

【奉天】全滿地方委員會聯合會では來る三月十二(月)十三(火)の兩日午前十時より、第十一回定時會議を開催するが全滿よりの提出議案は五十二件に達し相當論議されるものと見られてゐる

安東の名物 凧揚げ競技會
四月三日に擧行する

【安東】明朗この上ない凧揚げ競技會は昨年第一回を催したがいよ〳〵安東の年中行事として長崎名物ハタ揚げの向ふを張つて滿洲名物を一つ增やすこととなり今年は來月三日の神武天皇祭に六道溝運動場で安東運動協會主催で第二回凧揚げ競技會を催すことになつた、凧體競技は全市を赤、白、綠、紫に區域分けして所屬町內の應援を受けて力鬪し個人競技も行はれる筈で競技用凧數百個はすでに本場の長崎に注文中である、當日は鎭江山の若綠を撫でゝ吹く春風に大人子供が夢中に凧を追ふ賑る賑かな異風景で賑ふことであらう

ろしさには係官呆然……▲永年訓問と調査にはその人ありと知られた吉田部長もこの調査だけには頭を惱してゐるのを以てしても如何に深刻なるかを想像し得られる次第である▲市民を代表して公私の席上へ顏を出し冗談か氣マグレか「俺には某後家がいろ〳〵好意を寄せ貢いでくれるよ…」と得意に云ひふらして步く品性劣等の者がある若し事實として口外すべき事ぢやない、またそれが根も葉もない事であれば實に言語道斷の大馬鹿者である▲然もその相手方の婦人の名まで喋つてゐる點、その非常識誠に呆然たるを得ない次第である

旅順の噂

元市會議員の西野菊次郎翁、昨今大いに精神修養に努めつゝあるが左の如き近詠を物した

「武士のちりし暮れは千歲までその名は殘る國の礎」

「滿洲の國起りし元は白玉の山にしづまる御靈こそあれ」

「忘るゝな、白玉主の御靈こそ滿洲國の守り神なり」

「白玉の山の麓にすめる身の御かげによりてけふも無事なり」

「日露役今日ぞ迎へし三昔を偲べば友と何をかたらむ」

▲例の不良青年朝日町山下貞義(一九)の犯罪は取調べの進むに從ひ既に十三件に上つて來た、その初めは本年の二月頃で「鶴田」と云ふ印を使用し私文書僞造行使、詐欺、私印僞造行使、窃盜といふ然もその手段方法が頗る大膽且つ巧妙を極めて立派な金箔附の末恐

遼陽片々

▲滿洲國皇帝卽位大典には縣城警戒のため來遼中の鞍山守備隊〇〇名は三日歸鞍した

▲大典慶祝三日間遼陽日滿警察官が不眠不休で其の任務に服した結果何等の事故なく完了した事は慶賀に堪へない

▲滿洲セメント會社技師長高井三郎氏は向坂氏と共に數日前來遼採石地の踏査や工場敷地の選定其の他に奔走中であるが兩三日中に一旦歸東重役會に諮り解氷と同時に工場建設に着手すると

▲金融組合の二月中に於ける業績は左の如くである△組合員勘定、出資金一萬八千六百圓、拂込未濟出資金五千四百五十圓、新加入五名、現在會員百三十六名△貸付金勘定、前月末現在七萬七千百六十六圓、本月末現在八萬三千六百一圓△預り金勘定、前月末三萬一千七百四十三圓、本月末四萬六百十八圓、內譯拂込充當貯金九百九十五圓、定期預金二萬三千七百八十五圓、小口貯蓄預金一萬四千七百六圓、据置貯蓄預金一千百七十三圓

旅順放送

▲安藤要塞司令官は五日午後六時から瓢亭で在旅新聞記者雜誌記者數名を招じ懇談晩餐宴を催す

▲本社新舊社長は六日正午旅順ヤマトホテルに於て安藤、枝原兩司令官、大場警務局長、米岡市長を始め主なる代表者四十餘名を招じ披露宴を開催する事となつた

▲新任關東廳旅順醫院長樋口修輔氏は來る十五、六日頃着任の豫定、尚渡邊前院長は九大助教授となつて六日午前六時半頃自宅より自動車にて出發離旅の豫定

▲新京衛戍病院入院中の傷病兵五名は三日午前九時十分着列車にて官民多數出迎を受け旅順衛戍病院へ入つた

▲第一、第二兩小學校では三日午前九時半からそれぞれ雛祭りを行つた

▲九州醫大へ轉任した關東廳旅順醫院長渡邊信吉博士の送別會は宮下眼科部長、加藤技師、坪倉院長、原院長、米倉市長、村上市會議長等發起人となり四日午後六時から青葉において送別會を開催

▲樋口新旅順醫院長は二日在旅各方面に對し挨拶電を寄せた

ラヂオ 大連 JQAK 三月五日

滿洲國帝制記念放送(第五日)

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二

▲午前七時　ラヂオ體操第一、各地濃度速報

▲午前十一時　相場(錢鈔、特產株式、各地相場、公設市場値段)

▲正午　時報

▲午後零時五分　相場(錢鈔、特產、株式、各地相場)ニュース

▲午後三時三十分　相場(錢鈔、特產、株式、各地相場)ニュース

▲午後四時(奉天より全日滿)滿洲古樂(一)大樂歌「得勝令」(二)細樂歌「千手佛」(三)合奏「八條龍」奉天音樂會、指揮張海峰、飯大樂吹占一、飯大樂許永福、飯大樂許永綽、飯細樂王兆方、飯細樂揚慶恒、飯細樂袁長泰、飯細樂孫明九、打鑼蔣永福、打鈸張廣富、打鼓趙珍

▲午後五時三十分　簡易速記術講座(四)テキスト廿三頁第四課、大連速記研究會生稻寅松

▲午後六時　ニュース、職業紹介事項

▲午後六時三十分(新京より全滿)講演「御大典に列し所感を述ぶ」興安總署總長齊王

▲午後七時(哈爾濱より全滿)奉祝之辭(滿語、露譯)哈爾濱市長呂榮寰

▲午後七時二十分(哈爾濱より全滿)管絃樂「エレジー」(クバルデイン作曲)シンフオニー・オーケストラ、指揮ゲオルギー・コリツエフ

▲午後(哈爾濱より全滿)セロ獨奏(一)O・P四一の一(ルビンシュタイン作曲)(二)バラード六九(ポペル作曲)(三)スパニッシュセレナーデ(グラヅノフ作曲)セロ＝ヘルマン・ボストレム、ピアノ伴奏ニイナ・ボストレム

▲午後七時四十五分(哈爾濱より全滿)ソプラノ獨唱、歌劇「マルタの歌」(皇帝の花嫁の內)(リムスキー・コルサーコフ作曲)獨唱イリナ・カプルノヴァ伴奏シンフオニー・オーケストラ、指揮ゲオルギー・コリツエフ

▲午後(哈爾濱より全滿)バリトン獨唱　獨唱セルゲイ・スミルノフ、伴奏シンフオニー・オーケストラ、指揮ゲオルギー・コリツエフ

女の部屋 (108)
林芙美子作　一木弴書

誹謗（二）

——どうしたの？

幸福なのよ。妾…さても！

僕のお馬鹿さん、一緒にお湯においりよ。

——いゝわ、後で入るわ。妾その內、妾達の幸福だつた新婚の一夜……え？さうぢやなくて？さうよ、新婚の一夜よ、その新婚の一夜の思ひ出を、よつく、よつく私の心にえりつけておく爲めに、此の部屋の中だの、窓から見える景色だのを何でも彼でも皆見ておくわ。

そして彼女は又窓際に行つて、鼻つ先を窓硝子で押しつぶしながら外の繪のやうな景色に見惚れた。

秋山は宵の醺にとけこむやうな幸福感を、恰度いゝ溫さとぴつたり合つた湯加減で一層はつきり感じながら、暫くのびたやうに湯の中に浸つてゐた。

(妙なもんだな、人間のする事つて！)

つい今が今迄想像しなかつたやうな事がひよつこりと目の前に現れる。さうすると一切の豫定が根本から變更されて、何にも彼もぐらりとひつくりかへる。

秋山は妙に感傷的な神秘感とのん氣に遊び戯れてゐた。

イヴエットが

心にもなき、荒き言葉と
知りつゝも
愛知る者の、はかなさに
吾一度は、出でも行きしが
歸れとの　汝が一語は
常に　吾が身の、重き
重き　くさりぞや。

と小鳥のやうな聲で歌ひはじめてゐた。

秋山は湯から出ると、イヴエットの爲めに再び浴槽を一杯に充たしてやつた。そして室の中央で兩手を水平のやうに振り廻したり、身輕く跳躍して見たり、小學生のやうに眞面目な顏をして、一しきり體操をした。

歸れとの　汝が一語は
常に　吾身の　おーもーきー
おーもーきー　くさりぞーや

——ちやなくて？

湯槽の中からイヴエットが同意を求めるのに彼は鷹揚に

——そんな事にでもなつたら、僕あ死ぬよ。

と答へた。

——それ何あに！

——何にって……涌谷が云ふ「歸れの一語は」だらう？

——バカ！

イヴエットは日本語でさう云ふと、機關銃のやうな速さで

——バカ！バカ！バカ！ノボルのバカ！

とさも口惜さうにつゞけ打ちに怒鳴つた。

秋山は滿足さうにしらしらと笑ひ乍ら、ゆつくりした足どりで步いて行つて、扉の下から差込んである新聞を拾ひあげると、室の中央のソッフアの上にゆつたりとかけた。

それから先づ、煙草を一本つけて、おもむろに新聞を開いた。そして丹念に政治面、運動面、文藝欄を見て行つた。

そして社會面迄見て來た時、彼の顏色が突然蒼白になつた。

「失戀の若樣飛び込み自殺　銀座夜の美姫」

遼陽縣の奉祝畫譜

（上）遼陽城內大廟廣場における王縣長の慶祝辭捧讀（中）縣公署前の滿洲國兒童の旗行列（下右）滿洲國女學生の旗行列（下左）本社の奉祝塔

肺結核 ろくまく炎 療養上重大問題

有田ドラッグ商會主 有田音松

歐米に於ては化學萬能主義で、慢性病たる肺結核・肋膜炎を治癒せんとし、コッホ博士以來、あらゆる學者が引續き、我こそは肺結核治療の新法を發見して名譽を博し、後世に名を殘さんものと種々藻搔いたのであるが、今に至るも醫療のみを以て治癒の途なく、遂に歐米各國の政府に於ては、自然力を第一とするサナトリウム式、綜合療法が歐米全般に瀰るに至つたのである。

我政府當局に於ても「國民と結核」と題する著書によつて「醫藥にのみ頼る勿れ」と警告し、尚治病上、自然療養の大切なることに鑑み、全國の都市にサナトリウム式療養所の開設を奬勵しつゝある一事を見ても、

自然力を第一として、醫藥を以て之を補助し、治癒を計ることが、現今にかける萬全療法であり、全世界通有の理想療法である。

故に予が數回に渉つて自然力に重きを置き、醫藥を第二としたる綜合療法を喧傳した次第である。

又我商會の發表した數千人の全快者は、藥のみにて治つたのではない、何れも自然力に重きを置き、食養と藥劑の補助、即ち綜合療法によつて全快せられた次第であるから、

病患者はその綜合療法を眞に理解し、正しき療養の途を辿られたら、回復の喜びを得られるのも決して難事ではない。

重大なる食養問題

療養上第一に、治癒の自然機能を發動せしむる食養問題が今に徹底せず、治療界も一定の方針なく、患者は病苦に喘ぎつゝあるのである。

肉食主義の療法と、菜食主義の療法と、又は肉菜混合食主義の療法と區々に分かれて食養法が確立してゐない有様だから、治癒すべき疾病も不治症に陷るのは當然である。

本來、人類は穀食動物である。何となれば、其の齒は粒食に適するやう「臼狀」をなして居ることが爭ふべからざる證據である。

肉食動物の齒は、鋸齒型で圓錐狀をなし、鋭利で上齒と下齒が交互に狀に嵌し下顎の横斜運動を要さずして、よく堅靱性の食物を嚥化することが出來るのである。

牛・馬の如き草食動物の奥齒は狀に重り合ふて、硬い纖維草類を揉みながら摺るやうな按配になつて居るのである。

人類の臼齒は、中央は凹んでゐて、そのギザギザは凹部の中央から菊花狀に周圍に向つて放射して居り、上齒と下齒と合せると、其の間に穀物を入れて挾み碎く空洞が出來て居るのである。

故に、人類は過去數萬年に渉つて、主食物に穀類を選んで來たことが頷づかれるのである。

尚、草食動物たる牛馬の腸は、全身長の二十倍、人間の腸は十一倍、肉食動物たる虎や獅子は三倍といふ短いものである。

動物蛋白(肉類)は永らく腸中に停ると、自家中毒症を起すのである。

故に造物主が肉食動物の腸を短くしたものと推定すべきである。現に肉食國たる歐米に於ても、肉食の偏頗療法は陳腐療法として顧みるものなく、

佛國の大家、アランヂー氏の如きは「結核患者は肉食過多で自滅を計ることを止めないか」と喝破して居るのである。

又、英國に七ケ年間在留せられた結核の專門大家、前英國ケント州ナショナルサナトリウム院長、醫學博士小田部莊三郎氏も肉食の肺結核療養に不適なることを戒飭せられて居るのである。

尚、過去五十年間、我日本に於ても肉食は滋養分に富むとして、盛んに肺病、肋膜炎の食養としたものである。

所で、肺病・肋膜炎は減退どころか、益々增加し、結核病は死病なりと云ふ誤つた恐怖感念を抱かしむるに至つたのである。

歐米は肉食國なりと思ふが、それは歐米のホテルや、レストーラン(西洋料理店)等の御馳走を見て、歐米人は常に斯の如き美食を攝つて居るやうに考へるが、一度都會を去つて農村の食事を調べて見ると、粗食を攝つて勞働に從事して居るのである。

之は恰も日本の宿屋、料理屋等に行くと、肉食を專らとする美食であるが、一度農村へ行つて見たら雲泥の差で、粗食で勞働に從事して居るのと同様である。

現に予が、全國の都市に敬老會を開催して、八十歳以上の長命者に付き、その食事を調べて見ると、主食は穀物で、副食物に肉食を攝りし者は殆んどなく、菜食者のみであつた。

内務省が調査したる八十歳以上の高齡者も同様、殆んどが菜食者であつた。

伺聖恩に浴し得た百歳以上の高齡者は、恐らく純日本食の愛用者で主に味噌汁、漬物等を攝る食養者であつた。

以上の點より考へても、肺病・肋膜炎の食事療法は肉食でなく、純日本食を攝ることが日本人に適した食養法である。

然るに、一般は西洋風の動物食養法に追從して惡結果を招くものが多いのである。

既に歐米が陳腐療法として顧みざる肉食療法が、今尚盛んに行はれて居ると云ふことは遺憾の至りである。

歐米に於ては肉食と菜食の比較研究が盛んに行はれ、就中獨逸に於て嘗つてドレスデンより伯林まで百二十五哩の徒歩競走を行ひしに、菜食者十八名、肉食者十四名中、菜食者十名は決勝點に到着せるに反し、肉食者は僅かに三名で、菜食の人體に適良なるを示して居る。

又大家、フーヘーランド氏の如きは「他の食物より多く蔬菜を食すべし。肉類は腐敗しやすきものなれども、蔬菜は酸類を含有して此の腐敗を防遏し、而して腐敗は吾人の最大仇敵なり」と菜食を奬勵して居るのである。

現に我商會は自宅に於て自然力に重きを置き、古今に通じた日本食主義と、藥劑の綜合療法で治癒した數千人の全快者を發表した。

此の立場から日本食が肺病・肋膜炎の食養法に最適なものと斷言するのである。

日本醫祖　支那醫祖　印度醫祖　西洋醫祖

肉食 動物の齒　穀食 人類の臼齒　草食 牛馬の奥齒

肋膜炎 肺結核 療養研究所開設

創立者 有田音松

常任研究所五博士
- 醫學博士 伊藤種次郎
- 醫學博士 園田逸朗
- 醫學博士 塚本登
- 醫學博士 矢澤俊一郎
- 醫學博士 藤間靜

醫學は花であり、醫術は實である。醫學のみ進んで治療術が進まないとすれば、所謂山吹の如く、七重八重花は咲けども山吹の實の一つだになきぞ悲しきで、遺憾の極みである。

元來、醫學なるものは、
●基礎醫學(解剖、生理、病理、細菌、醫化學、法醫學)
●臨床醫學(治療術)の兩方面から成立つものである。

然るに現代の醫學は、病理、病原の診斷は進んでゐても、肺病の慢性病の治療上に於ては尠なからぬ遺憾の點が多いのである。

殊に肺結核・肋膜炎の如き、今に至るも醫藥のみでは治癒の途なく、故にサナトリウム式療法が盛になつたのである。

故に予は、結核に對する各大家の著書を漁り、東洋及び西歐醫界の稱讃する良藥を蒐集し、病理、療養の研究と製劑に苦心し、尚肺病・肋膜炎の如きは、醫藥のみで治癒し難き事は、歐米におけるサナトリウムの設置によつても立證せられてゐるのである。

故に予は自然力に重きを置き、食養と藥餌の綜合療法を病患者に採らしめたる結果、既に我商會の新聞紙上に公表したる全快者の數が、數千人の多きに達して居ることは、世間周知の事實である。

之によつて見ても、肺結核・肋膜炎が不治の病症でない事は明らかである。

然るに、中には有田ドラッグは藥業者にして、醫學上については何等の素養なきもの丶如く批評する者があるので、患者はそれに惑はされ、療養中途にして他に迷ひ、取返しのつかぬ羽目に陷る者があるので、醫學上萬遺漏なきを期するため、今回更に、伊藤・園田・塚本・矢澤・藤間の五博士を招聘し、尚助手として數名の醫學士を置き、研究所を開設し、世界の結核に對する治療上の實驗に徹して、藥劑と食養の研究等に日々從事せしめつゝあるのである。

此の嶄新なる我商會獨特の綜合療法により、病菌を征服し、健康に復せられんことを祈る。

我商會全國專賣所主任には、病理を研究せしめ、尚病理學理、療養上に關する參考書類等、備へつけあるを以て、病患者は遠慮なく最寄專賣所につき研究、本復せられたし。

寫眞上より伊藤・園田・塚本・矢澤・藤間の五博士

肺結核の治療法は 眞劍なる研究を待たねばならぬ

醫學博士 伊藤種次郎

誰しも好んで病に罹るものはない。けれども不幸にして病魔に襲はれた場合は、健康を回復するために最善の努力を拂はねばならぬ。

病氣と云ふものは偶發的の災で、言はゞ災難に遇つたと同様のものである。不養生をしても病氣に罹らぬ人もあり、養生に注意を怠らぬのに病に罹ると云ふ場合もあつて、必ずしも不養生のみが病氣の原因ではない。

健康と云へば、其の裏に病氣と云ふものゝあるのは、表と云へば裏、上と云へば下があるやうに對立的のもので、從つて病氣に罹ることがあれば必ず健康を回復すると云ふ反面がある筈で、徒らに悲觀をしたり、驚愕すべき事柄ではないのである。

病氣を治すと云ふことは、例へば自衞のため戰爭をして、敵を殲滅するのと同意義のもので、強敵を撃破するには豫め敵情を知り、適當なる戰略を定めねばならぬ。之と同様に、病魔を驅逐するには病症の性質を熟知し、之れに相當する完全な治療方針を決定せねばならぬ。

所が多くの病者は、肺病と聞き肋膜炎と聞いて唯徒らに戰き怖れ、その根源を究めやうとせず手當り次第の治療法を選び、甲の療法が面白くなければ、乙、丙の療法に移ると云ふだけで、方針は常に動搖し、大切なる一定不變の治療方針を確立しやうとしない。

これでは經過のよからう筈がない。幸、茲に有田音松氏は此の研究の重要なるを痛感せられ、研究所を開設し、研究に要する財物を快く支給せられ、且つ此の事業に多大の援助を吝まれざる特志に對して、敬意を表するものである。

元來、肺病或は肋膜炎は結核菌の感染によつて發生する病症で、我邦で現に百數十萬の患者があり、年々十萬の死亡者を出す恐るべき疾病である。けれども他方に於て結核は治癒し得べき病であつて、極めて輕症の場合にあつては、病氣にかゝつてゐることすら氣が付かず、そして知らぬ間に治つてゐるやうな例は、澤山病理解剖によつて證明されてゐるので、完全なる治療法を實行すれば、決して治らぬと云ふ筈はないのである。そんなに治り易いに拘はらず、多數の病人が此の病に惱まされてゐるのは何故であるか。

恐らくは病症の性質、養生の方法に關して認識が不足し、從つて正しい養生を守らず、知らず識らずの間に病症を惡化せしめ、重症に陷るものが多いからである。病氣の性質を正しく理解し、此に應じて合理的な治療法を實行したならば、決して結果の惡からう筈はないのである、實際に於て全快者も年々數十萬を超してゐる筈で、判然とした統計がないから明らかに數字で示すことが出來ぬだけである。

我研究部に於ては現時醫術の進歩に從ひ、細菌學的研究、血清學的研究、並びにレントゲン線研究により結核の病症を闡明し、肺結核の治療法を發見し、人類の福利を增進するの目的として、一意努力して居る次第である。

醫師の立場より 公平に見た有田ドラッグ

醫學博士 塚本登

私は大學の研究生時代の先輩、大森博士から大阪の有田音松氏が社會事業の一部として、肺結核研究部を大阪でやつて居られて、病者から非常に喜ばれて居るやうになつたから、呼吸器病に經驗の厚い博士を探すことを頼まれたが、貴君はやつて見ませんかと云はれ、熟慮の結果、面白い且つ世の中の爲になる良い仕事だと思つて快諾しました。

先づ 大阪の有田ドラッグ本店製藥工場並に研究所を見てくれとの事で大阪に行きました。

私は今迄賣藥などと云ふものと餘り關係がなかつた爲めに、實に豫想が全然裏切られた感が致しました。と申すのは、醫者と云ふものは兎角賣藥等を馬鹿にする習慣や癖があるのであります。

先づ製藥工場を參觀して、實に清潔である事、總てが機械で造られて一度に大量な藥が迅速に出來る事等に驚かされました。

次に 工場長の藥劑師の方に治肺劑の處方箋を見せて頂いたら、我々の藥局で用ひない様な藥が相當容量に使用されてあるので、これなら效く筈だと敬服しました。

私は研究部の專門醫によつて、その養生法其他を研究しこれを病者に充分敎へてこの藥を用ふれば尚一層效果があるものと堅く信じて居ます。(これが有田氏の研究所に專門の博士を御依頼になつた趣意でせうが)製藥工場を見學後、有田氏と約一時間半お話を致しました處、有田氏も全然其の意味で醫者と我々と提携しなければ眞の治療は出來ないと主張されました。

有田氏の此のお考へは一般賣藥者の到底なし得ざる一大快擧であり、且つこれより大なる病者の福音はないと云つても過言でないと思ひます。

有田 氏と初めて面會して一番驚いたことは溫厚な態度で、口から出る言葉は一にも病者の福音、二にも病者の福音と患者の事のみ念頭に置いて居られる事と、室中が新刊の呼吸器病、花柳病の書籍で大きな部屋が狹くなる程積まれてある事、それを暇さへあれば讀んで居られる事であります。

私は賣藥者に對する自分の想像が餘り外れたのを深く恥ぢました。

最近の全快者

眞に病者を思ふ 公平無私の意見に敬服して

名古屋愛知醫大病院で肺尖加答兒と診斷されて以來、迷ふたと云ふよりも、だまされてゐたと云ふ方が當つてゐたかも知れぬ程、新聞や雜誌の廣告を見て、あれこれと新藥や賣藥を試みて見ました。然し、どれもこれも大した效果のある物はなく、そうした物に見切をつけてゐた際とて、有田ドラッグの藥が良いからと勸められても、スグ棲信じることも出來ず、寧ろ問題にしなかつた位でした。

その頃から新聞紙上に發表される有田氏の療養上の意見がいやに目に付き出し、つひ知らず讀んでしまふのでした。

それは肺病患者が餘りにも醫藥や藥に頼り過ぎ、自然を忘れてゐるから治る病氣も治らぬのだ。醫藥よりも先づ自然、即ち空氣、日光、精神、食餌等に重きを置いて養生したなら、必ず治る筈だと說き、決して藥を買へと云つてゐないのです。

私は今迄一にも藥、二にも藥と餘りにも他力に頼り過ぎてゐた事を悟りました。そこで更に進んで有田氏の說を聞かんものと古知野町有田ドラッグ專賣所を訪れ、主任から二時間餘に渉つて自然療法の實行法について指導を受けました。

そこで私は斯く高邁なる人格者有田氏の製造せられた藥ならばと自分より進んで服藥を受ける事にしました。

昨日に變る今日の心境、少しの熱も咳も倦怠も、何の苦痛も感じなくなり、日一日と抗病力が強められ、遂に難治とされる結核病を征服し得たかと思へば、自分ながら欣躍の感があるのです。

それにしても此の療法、此の藥驗を同じ惱みに泣く人々に頒たんで、人としての道を全うし得ないのだ。敢て貴重な紙面を借りて申します。

肺病、肋膜患者諸兄姉よ、公明なる有田氏の說に耳を貸し給へ。

愛知縣丹羽郡大口村字小口中 全快者 木野晃作

體驗を語る

風邪がこぢれてだんだん胸が苦しくなり、咳が出る、食が進まなくなる、とうとう醫者から肋膜炎と云ふ聞いてさへ嫌な病名を附けられる身の上になつて了ひました。元より、いろいろの藥も用ひて見ましたが、一向に思はしく御座いませんでした。だが新聞で知つた赤坂町の有田ドラッグ專賣所へ行き、種々とお話を承つてからは、急に心に安定が出來、云ふに云へぬ安らかな氣持にひたることが出來ました。そうして有田ドラッグで聞いた通り、近くの神社に朝々快さ參拜致しました。森の中の靜かな清らかな空氣を呼吸して神の御前へ額く時、からだ中の邪氣が散つてしまつたやうに清々致しました。そうすると自然に心が明るくなつて、來る朝毎になんとなく感謝に充されるやうな氣持で床を離れるやうになり、久しい間の苦痛も何處へやら、漸く快癒の彼岸にたどり付く身となつたのでございます。

北海道中川郡池田町字千代田南三線東一七四 全快者 神森たけ

心の持ち方一つ

病は氣で治ると申しますが、私が今度肺病にかゝつて迚も助からぬものと悲觀して居りましたところ、親切な近所の方から敎へられて、父が名古屋桑町七丁目にある有田ドラッグへ參り肺病や肋膜炎は治り易い病氣だと、幾つかの治つた實例を聞かされ、お藥を買つて來てその話をして下さいましたので、人が治るものなら自分も治らぬ筈はない、必ず治して見せると決心を致しまして養生しましたら、今迄と違つて身も心も輕く、日に日に快方に向ひました。そしてお醫者樣も治つたと仰云つて下さいました。誠に心の持ち方一つで病は重くも輕くもなるものでございます。皆樣もどうぞ有田ドラッグで療養の話をお聞きになり病を氣でお治しになるやうお勸め致します。

名古屋市中區御器所町[illegible]口六六 桑山金次郎方 全快者 桑山榮子

今はこの元氣 病後とも思へぬ程に

醫師に息子が肋膜炎だと宣告された時、私の頭を痛めたのは病氣其物よりも、今後の療養法を如何しやうかと云ふことだつた。「入院させうか、轉地させうか」家内中、よると斯うした話で持ち切りました。だが私は種々の意見を退け、豫ねて新聞で見て置いた平田町にある有田ドラッグの專賣所を訪づれました。種々と主任の話を聞いて、自分の病氣に對する理解があれば、徒らな焦燥や煩悶がしなくなり、精神も安定して回復を早めると云ふことが解つて來ました。

歸宅後、有田ドラッグで敎へられた空氣や食餌、日光や精神等の療法を息子に聞かせて療養させました處、日一日と快方に向ひ、お蔭で朗らかな日を迎へるやうになりました。

今日、元氣に毎朝、野菜の賣物に町へ出て呉れる丈夫になつた息子の姿を見るにつけて、何とかして私は斯うした自宅療法もあると云ふことを、一般同病者に知らしてあげたいと思ひます。

島根縣簸川郡西田村字西之郷四四九 全快者 日野久三郎 父 日野豊藏

心配無用

肺病に罹つても不治だなどゝ悲觀することはありません。養生法さへよければ譯なく治るものです。昨年の秋、風引きから文男が肺を惡くしたとき、吳市有田ドラッグ專賣所で指導を受け日光、空氣、食餌、藥物の合理療法を熱心に實行させた結果、今日の幸福を得たのです。

お子達の病氣でお困りの方は藥は賣はなくとも、兎に角一度有田ドラッグへ相談して御覧なさい。有田ドラッグ本部の博士が苦心研究した療養書も下さいますし、種々療養法について親切に指導をして下さいます。

吳市朝日町五八 全快者 檜垣文男 母 檜垣モト

新な光明の感激で産業開發に驀躍

沿線の商取引座談會を開催

鐵路總局躍起の調査

【奉天特電四日發】鐵路總局國線沿線の産業開發に伴ふ商取引その他一般經濟關係につき總局地方科では鋭意調査中であるが瀋海、奉山兩線の背後地調査については地方事務所勸業係で既に瀋海沿線を終り奉山線に着手中であり、將來滿洲國の開拓は國線からたモットーとして交通と産業政策の協調のため大いに努力しつゝある、五日午後三時からヤマトホテルで大岩地方科長、小川勸業係長、三田産業係主任等列席のもとに國鐵沿線の商取引上の具體方針につき座談會を開催し、奉天貿易組合上田、西尾の諸氏を始め實業家、市商會庵谷商議會頭、野添理事その他日滿有力實業家代表を招待し意見の交換を行ひ國鐵としての將來の方針を決定する參考に供する意向である

業績も上々吉

一千百七十萬圓金の純收入

前途はたゞ洋々たり

【奉天特電四日發】鐵路總局は創業一周年を迎へ鋭意業績のあがることに努めてゐるが鐵路の改善、營業第一等の實績は當初に於ける營業收支見積りと大體一致せる成績を示して居る、卽ち昭和八年度營業收入は五千數百萬圓に對し二月末現在四千百餘萬圓の收入を見込である、只北滿の特産が産出豫想に反し二、三割の減收だつたゝめ一月、二月に相當豫想外の減收を見たが結局年度末には豫想より二、三百萬圓の減收を來すのではないかと見られてゐる、今昭和八年度四月より同十二月迄の營業收支決算の概數を見れば次の如くである（單位圓）

	收入	支出
鐵道	三、三五〇、〇〇〇	二〇、三五五、〇〇〇
水運	九七四、〇〇〇	六六五、〇〇〇
附屬事業	三四、〇〇〇	七〇四、〇〇〇
利息	一六、〇〇〇	五三〇、〇〇〇
雜	一、三三五、〇〇〇	一四八、〇〇〇
合計	三四、一八〇、〇〇〇	二三、四四〇、〇〇〇

これによれば附屬事業及利息に於て相當の赤字を示してゐる、結局一千百七十萬圓餘の純收入で正常な營業狀態にあることを知り得る滿鐵借款に對する支拂は計算外に置かれてゐるので今や創業日淺きも種々な關係を淸算して而も黑字の擡さるゝ日の一日も早からんことが期待されて居る、而して昭和八年度の五千數百萬圓に對し同九年度はこれの見積りも七千萬圓程度になるものと見られてゐる

直通運送の規程審議

旅客小荷物

【奉天特電四日發】國線では昨年十月十五日から京圖線と社線及北鮮線經由の朝鮮鐵道局線との連絡規程によつて旅客小手荷物の連絡運輸を行つて居るが滿洲の發展も今や目覺ましく鮮鐵、新線、國線の關係も頻繁化して來たのでこれら諸鐵道の渾一化をはかり來る五日三鐵道より係員參集し總局で旅客小手荷物直通運送規程の審議を行ふことゝなつた

獨立機關へ

水運附帶事業

【奉天特電四日發】總局附帶事業中の水運事業はハルビン水運處所によつて船舶營業及び埠頭營業を行つてゐるが解氷期と同時に北滿河江の航運に一大刷新を加へ既に六百萬圓の豫算も計上されてをり其の事業擴大に鑑み水運處所は四月の職制大改革と同時に水運局或は江運局として獨立した現場機關となるのではないかと見られてゐる

東京大學野球聯盟規約改正

【東京四日發國通】東京大學野球聯盟は三日午後六時から東京會館に加盟各校の部長會

動民樓上の謁見室　向つて左の花瓶は菱刈大使の獻上せしもの、その下黑色の花瓶は林滿鐵總裁の獻上品

大連商業軍大敗

卅五對零・滿鐵勝つ

きのふのラグビー戰

ラグビーシーズン開始の第一戰たる大連滿鐵對大連商業戰は四日午後二時から大連運動場で高尾（主審）澳邊、河村（線審）三氏審判の下に開始した、大商軍は本年度の新メンバーのためコンビネーションなく三十五對零で大敗した

（前半）	滿鐵	0	6	0	8	3	17
	大商	0	0	0	0	0	0
（後半）	滿鐵	6	6	3	3	0	18
	大商	0	0	0	0	0	0

合計 0―35

◇前半…▼大商トスに勝ち風上プール反對側に陣し滿鐵キックオフ、滿鐵直ちに攻入るも大商よく防ぎ漸く六分滿鐵右隅にスクラムトライを擧げノーゴール▼更に十分攻勢裡の滿鐵ゴールポスト直下のルーズの球を櫻井得てトライノーゴール▼大商頽勢を挽回せんとするもコンビネーション聯くものにならず却つて十六分滿鐵敵陣十碼線附近タイトの球を得て西山永見と渡り右フラッグ寄りでルーズとなりしも櫻井得てもぐつてトライノーゴール▼更にまた廿分滿鐵中央での中山のパントを永見得てポスト下にトライ齋藤コンバート▼續いてタイム直前滿鐵廿五碼ルーズの球を西山永見櫻井と渡つて右中間にトライノーゴール

◇後半…▼二分中央線密集より西山キック大商バックを拔き自から取りて長驅右隅にトライノーゴール▼五分中央線混戰中より根岸突進櫻井大きく左にパスを受け左中間トライノーゴール▼九分中央線附近のラインアウトより眞野に渡り長驅して左中間にトライノーゴール▼十分直に滿鐵猛烈に攻入りバックのパス左に流れ櫻井取りて長驅左中間にトライノーゴール▼續いて十六分滿鐵中央邊よりドリブルにて攻入り中山押して右隅にトライノーゴール▼二十分大商陣二十五碼のタイトより滿鐵左に櫻井、山田と渡り山田左隅にトライノーゴール▼タイム直前大商奮起滿鐵陣に攻入りたるもチャンスなくノウサイドとなる

（大商）	FW	松原木藪橋口田井賀早井原村星井	
	HB	小川廣小岩谷增今佐風村石中赤松	
	TB		
	FB		
（滿鐵）	FW	内岸林田藤島中西山見野井山田島	
	HB	池根小山齋大田小西永眞櫻中尾木	

大倶惜敗す

對南滿電氣戰

引續き四日午後三時十分から大連倶樂部對南滿電氣戰を田中禾（主審）森本、伊藤（線審）三氏審判の下に開始した、大倶練習不足のため後半疲れを見せ十二對八で大倶敗る

（前半）	滿電	0	0	0	3	0	3
	大倶	0	3	0	0	5	8
（後半）	滿電	0	3	3	0	3	9
	大倶	0	0	0	0	0	0

合計8――12

◇前半…大倶トスに勝ち風上（プール反對側）に陣し滿電キックオフ大倶攻め入るも練習不足のためハンドリング惡く漸く九分左敵陣ゴール前タイトのフットアップにコールをれらひ立上コンバートして先取▼後滿電の練習と大倶の老練とは伯仲にて中央で一進一退を續ける裡十六分中央ルーズの球滿電に出で水上因藤、顯原と渡り左隅にトライノーゴール▼續いて二十二分大倶自陣二十五碼線のルーズの球を内田より三原に渡つて長驅右中間にトライ立上コンバート

◇後半…六分中央ルーズの球を滿電得てFWドリブルして出てゴールラインに入るを顯原好く追うてトライノーゴール▼十分十二分と大倶チャンスあるもつかみ得ず疲れを見せ十四分FWパスで攻入り鹿野に渡つてポスト直下にトライノーゴール▼更に二十四分鹿野再び中央よりダズールして出でポスト直下にトライノーゴール

（大倶）	FW	上田田喫野宮尾島澤
	HB	原谷木端山
	TB	三長佐川龍
（滿電）	FW	中川合垣原崎田川野野原藤上井
		田北吐稻河山稗有淺鹿顯因水薛

國際運輸敗る

大連倶樂部對國際運輸戰は四日午後四時二十分から大連運動場で安藤氏（主審）審判の下に開始したが二十六對零で大倶勝つ

大倶 8 18 ― 0 0 國際

（大倶）	FW	上田野喫尾宮上島澤島原谷山端
	HB	立藪矢木谷新村寺岡岡三長龍川
（國際）	FW	木上永保野木池田
	HB	高井德正眞佐小内
	TB	野川鶴龜田本
	FB	永菊弘弘新森

六人組强盜【奉天特電四日發】三日午前一時半ごろ十間房林業銀行西側滿人趙蘭亭方に六人組の强盜侵入し棍棒で家人を脅迫の上大洋二百元を强奪して逃走したので日滿當局では目下犯人嚴探中

小火一件　三日午後十時四十分ごろ市内泉町二十二番地張岐山方から發火大事に至らず同五十分鎭火したが原因沙河口署で取調べ中

熱河の暗黑界に進む大征服陣

唯一筋に張る自動車網の爲

【奉天特電四日發】交通不便であつた熱河方面には總局國鐵のバスが運行し朝陽から承德に向ふものと赤峰へ直行するものとの二大幹線がその樞軸となつてゐるが國道局の新道路建設で各地にバス網が漸次伸ばされつゝある、承德から圍場を經て赤峰に至るバスも既に運行し赤峰から林西にバスを運行する計畫も具體化せんとしてゐる内蒙古一帶の沙漠は三、四尺ばかりの砂地であるため現在の自動車による車輪では砂中に埋まつてしまひ往來が殆どできない狀態であるため沙漠を行く自動車の計畫も研究されてゐる

ところが熱河の各道路はいづれも泥地であるため一雨每に道路が低下し甚しいところはバラスを入れた道路が二尺餘も地下にメリ込んで行くといふ底なし道路でバラスをどれ程喰へば完全な道路ができるか今のところ技師すら判斷ができないので、熱河道路の深さが問題となつてゐる、朝陽から赤峰に至る國道はこれまた沼地が多數あり自動車は細い雜木を橫倒しして道路を造りその上を走るといふ世界に見られない地方味ある道路でバラスを入れるには餘程の努力を要し熱河國道の建設は想像もつかない困難があるといはれてゐる、然し自然を征服する文化の力はグングン熱河の暗黑界に加へられ大滿洲國王道の建設は一歩一歩力强く固められつゝあり惡道路を完全なものとするため國道局では大いに奮鬪してゐる

國道局泥濘路克服策

インテリ匪首を逮捕

【鐵嶺特電四日發】滿洲事變以來瀋陽、鐵嶺、開原、法庫、康平、淸源各地に出沒して暴威を揮ひた匪首金山好、長江好、趙亞洲等合流匪三千餘の參謀として救國軍の美名に隱れて私腹を肥やしてゐた鐵嶺縣上末二臺冲居住北平大學出身張景衡（四五）は掠奪を目的として奉天襲擊を始め各地に蠢動してゐたが、日滿官憲の突進に進退窮し其の後杳として消息不明となつてゐた、ところが最近奉天附近の部落に潛伏中を虎石臺守備隊員に探知されこの程遂に逮捕せられた目下鐵嶺大隊本部で嚴重取調中である

彼は北平大學卒業後實業家にあつて農業を事としてゐたが最高學府を出た身として現狀に滿足せず機を窺ふうち滿洲事變となり各地に匪賊跳梁する際財産保護に名を藉り賊團に通じ糧秣食料を給し或は自宅に匪首を匿ひその中大學出身といふので賊團に信賴せられて參謀となり日滿官憲に抗してゐたものであると

水田可耕地【奉天特電四日發】康平縣第三區に於いて最近水田可耕地六十町步が發見されたので來る春耕期より開耕するべく目下鮮農の移住者を募集中である

撫順の大火

千金寨滿人遊廓街で五十七戸を燒き盡す

【撫順特電四日發】四日午後二時ごろ撫順千金寨大山坑下滿人遊廓街の煙草販賣店永泉長方より出火折柄の寒風に煽られて火は見る〳〵附近の料理店に燃え移り、急報により滿鐵消防隊が出動、必死の消火に努めたが四棟五十七戸を燒き盡し二時間の後漸くにして鎭火した、出火原因はストーヴより過つて木部に燃え移つたもので幸ひ死傷者はなかつた、損害は約四萬圓の見込み

東京市教育局全滅

きのふ廣田、藤岡兩課長召喚

擴大する教育疑獄

【東京四日發國通】帝都教育疑獄は昨年十一月醜狀摘發以來府市教育會首腦部始め小學校長等四十餘名の收容者を出したが四日遂に市視學課長廣田傳藏氏は警視廳に、市社會教育課長兼視學藤岡眞一郎氏は檢事局へ召喚され兩課長とも同夜は留置されるに決定した、茲に肥後學務課長召喚收容され教育局全滅の狀態となつた

闇を送る繼父

苦界から逃れ出た安堵の娘に

吸血虫の說諭願ひ

【奉天特電四日發】十四年間育て上げた養女を藝者に叩き賣り飽くことも喰ひものにせんとする吸血鬼……長崎市榎津町山上治作（四九）はその妻女とき子（四〇）との間に子供がないので今から廿五年前同市の竹下豐吉の長女ふぢ子（當時三歲）を養女として貰ひ、その後ふぢ子が十七歲になるまで家事の手傳ひをさせてゐたが、彼女が

漸く娘らしくなつたのを

見て治作は彼女を奉天柳町料理店玉の井に前借千圓（五年間契約）で賣りとばし、自分は働かれる身でありながら、ふぢ子が苦界に身を沈め苦しい中からも、每月送つて來る金で何をするともなく日を送つてゐた、ところが昭和三年となつてふぢ子からの仕送りがはたと絕えたので、その消息を聞き合はしてみるとふぢ子は奉天滿鐵の某高級社員の立派な奧さんとして納まつてゐた、これを聞きこんだ治作は早速

ふぢ子は私の手で十四年間も育てた娘です、人傳によればその ふぢ子は人の奧さんになつてゐるといふことを聞きました、その男といふのはどんな人間か、ふぢ子は私たちが賴る只一人の娘です

と暗にふぢ子を警察の手により取戾し郷里に歸して貰ひたいことを

意味

した說諭願を奉天署に送つて來た、治作は漸く苦界から足を洗ふことが出來たふぢ子をこの口實を以て呼び戾し更に他に叩き賣る意志に相違なく奉天署では愼重取調べをなすことゝなつた

戸山學校で劍道大會

軍民精銳劍士

【東京四日發國通】三月二十六日から開かれる師團長會議を機として全國師團劍道大會が二十八、九の兩日戸山學校で開催される、出場劍士は各師團陸軍省、參謀本部、教育總監部、在郷軍人會選拔軍、在京一般劍士教士及び宮内省、警視廳、專門學校以上より精銳をすぐり總數實に三百餘に上り當日の盛觀豫想される

堀少將追悼會を執行

きのふ新京で

【新京特電四日發】過日新京市内警備狀況視察中不測の災禍に遭遇逝去した陸軍少將堀又幸氏の追悼會は四日午後二時より新京高女講堂でいと嚴肅に擧行された、菱刈軍司令官、小磯參謀長以下各部隊の參事官、吉澤、林出、鶴見各書記官に滿洲國側より鄭國務總理、

堀又幸少將遺骨

【奉天特電四日發】去る二十六日大典前新京警備狀況視察中不幸奇禍に遭ひ二十七日逝去した關東軍司令部附堀又幸少將の遺骨は五日午後一時二十八分奉天着はとで淺川參謀附添ひて到着直ちに十間房西本願寺に安置同二時から告別式を行ひ六日午前七時安奉線列車で内地に向ふと

張景惠、謝介石、丁鑑修等の各國務大臣その他地方名士多數が參列、岡村葬儀委員長喪主を代表して挨拶をなし、終つて僧侶の燒香讀經あり、菱刈軍司令官以下各參列者順次燒香午後三時式を終つた

九州觀光團募集

今春長崎で開催される國際産業觀光博覽會視察を兼ねて門司、博多、長崎、雲仙、島原、熊本、阿蘇、別府、耶馬溪、宇佐と九州一圓の名勝地を巡遊する九州觀光團をツーリスト・ビューローで募集、三月三十日扶桑丸で大連出帆、四月十一日歸着、十三日の期間で團費八十圓、大連、營口、奉天、撫順、新京、ハルビンの各ビューローで申込を受付けてゐる

奉天署員歸る

【奉天特電四日發】新京に於ける滿洲國の皇帝登極の盛儀が行はれその警備援助のため奉天署から永田警部補以下二十名が去月十五日より同地に出張中であつたがこの盛儀も無事終了したので一行は五日歸奉することゝなつた

樂安子

第一埠頭に据付けられてゐるカータンバーは大正十五年滿鐵が大枚六十三萬圓でドイツから購入したものだが甘井子に輸出炭積込み專用埠頭が出來てから設置されて以來、不用となり二倍以上のデカいカーターバーが設置されて以來、不用となり各船の燃料炭積込みに機械を動かすには高い費用がかゝるといふ譯でいさゝか持ち腐れの形。

そこで滿鐵では「誰か買ひ手はないかなあ」と搜してゐるが愉快なことは立往生した六十三萬圓の機械の下で埠頭名物の苦力が眞黑になつて各船へ石炭の積込みをやつてゐることで、このところ機械文明が勞働力に壓倒されて居る。

故關東軍司令部附陸軍少將堀又幸告別式擧行ノ際ハ御多忙中態々御參列ニ預リ御懇情ノ程難有厚ク御禮申上候

昭和九年三月五日

關東軍司令部　葬儀委員長　岡村寧次

南蠻彩船 (61)

鈴木氏亨作　布施長春畫

曾呂利新左衛門(三)

晩秋の日は麗かに晴れて大阪城には爽涼とした氣が滿ち〳〵てゐた。

その日は、朝から、豊太閤の機嫌が殊の外よかつた。

と云ふのは、勘氣がゆれた曾呂利新左衛門が、久々でお目通りを許され、猿面冠者を笑はしてゐたからであつた。

大閤は少なからず悦に入つて、城内の空氣も和かに解けてゐた。

「殿下、面白いことが御座います」

曾呂利は、ぶらりと欄から垂れ下つた、糸瓜のやうな顎をしやくつて、茶ばんだ色の袴の肩先をつんと突つぱねた。そして、小粒の栗のやうな眼をぱち〳〵と瞬かせた。

「其方が面白いと云ふことゝ、必ずしも面白いとは云へぬが、何かしらぬが、まあ申して見い」

太閤は、にこりともせず、佛頂面ただ機械的に動かした。——

彼は、曾呂利と會つてゐる時には殘酷な程冷嚴な取扱ひをして、出來るだけ彼の笑ひに反抗し、彼れ本來の面目を維持し、太閤として威嚴を保たうとする癖があつた。

「鯨と金が、どちらが大きいかと云つて、漁師と里人が爭ひをしたと云ふ話で御座います」

「鯨と金、それはなんのことぢや？」

「殿下には、さやうのことがお解りにならぬので御座いますか、下々で申す鯨と金、かゝることが解らずに、一國の政治をお取り遊ばす天下樣は、近頃、ちと、どうかしてゐると……」

「呆け奴！」

大閤は、眼を三角にした。

「餘計なことは申さぬでもよい。あとを話せ。……鯨と金と、漁師と里人がどうしたと云ふのぢや」

「ハッ——では續きを申上げませう」

曾呂利は、長い顎を胸へつけてぴよこりと頭を下げた。

「この話は、里人と漁師の自慢からはじまりまする。ある日のことでございました。漁師と里人が偶然の機會から、互に自慢話をはじめました。漁師が申しますには、ヤレ海には鯨と云ふ大きい魚があるが、陸にはこれに匹敵するやうな大きいものがあるまい？すると里人は、鯨なんかはものゝ數ではない。われ等の陸上には、奈良の大佛と云ふ毘盧遮那佛がある。これに匹敵するやうな雄大な魚があるまい、かう誇りがに申したさうに御座います。イヤ鯨が大きい。イヤ大佛が大きい。甲論乙駁果しがつかなかつたさうに御座りますが、そのうち紀州沖で大鯨が獲れたと云ふ報が來て、漁師と里人の二人、どちらが大きいか、いまや優劣を決する時は來た。いでや行かん。と紀州さして強行し、二人で鯨の身の丈を計り、直ぐその足で奈良へ引返し、大佛の御丈の寸法を計つて見ましたところ、大佛樣の方が、如何に御佛の身にはおはすとは云ふものゝ、金佛で鑄られたるお身の上のことゝて、二寸足らず、遂に鯨のために金が敗けになつたさうに御座ります。つまり鯨が金よりも二寸長かつたと申すので御座います」

曾呂利は、如何にも輕妙なそぶりで、巧に物語つた。

「余に、鯨尺と金尺の相違を話さうと云ふのか、大呆け奴が！子供ぢやあるまいし」

大閤は、さう云つて、輕く一喝した。が、内心では

「また曾呂利の奴に一杯喰はされた」

と、悪い氣持はせなかつた。

「時に殿下！」

曾呂利は、この好機を逸してなるものかと、一段聲を張り上げて呼びかけた。

滿日柳壇課題

◇課題　「春の街」「煙」「小言」
◇締切　三月五日(住所氏名明記)
◇句數　各題五句(各題別紙の事)
◇薄賞　佳吟に薄賞を呈す
◇宛名　本社編輯局川柳係宛

＝滿日俳句募集＝

◀次回課題　春めく、春の雪
句數及び用紙に制限なし
◀投句所　東京市牛込區若松町八二　島田青峰宛
◀締切　三月十日

（明治卅八年十月二十五日第三種郵便物認可）

滿洲日報

三月四日發行

發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

齋藤首相頰冠りで議會乘切りの肚

議會後園公訪問で進退決定
バラック建の現內閣

【東京特電四日發】鳩山文相の珍品五箇事件に端を發し該事件の中核たる文相の樺工より五萬圓を收受したるの事實が到底抹消し得ざるものなりしがため政界は一時どうなるやら險惡なる雲行を示したが、それも文相の辭職により一段落を告げたる形となり本問題の終幕を以て閣僚綱紀問題の火の手も一應鎭靜に歸したるものと認め齋藤首相としても直に文相の後任を決定する段取となりこの際政友會に交涉するを本筋とするも二日鳩山文相が齋藤首相と會見したる際文相は政友會內の黨情を述べて後任推薦の困難なるを諷刺したる關係あり、已むなく文相後任は首相兼攝さし殘期少き今議會を乘切る決意を固むるに至つたものである、而して今後兩院の形勢は貴族院は尙ほ一部の現閣僚中に紀上疑雲全くは晴れやらぬものありとて場合によりては第二矢、第三矢を放ちかねまじき懸念なきに非ず、政府の關心は主としてこの方面に向けられねばならぬ順序であるが他方衆議院は大觀して現內閣の

居据りは困難

閣議は宛ら啞と聾の寄り合ひ
閣僚全く熱意を缺く

【東京特電四日發】齋藤內閣は鳩山文相の辭職に依つて議會に於ける一難を切り拔けた積りで居るが連續的の外科手術に依る創痍の影響は如何ともしがたいものがある三日の閣議の如き殘つた閣僚連はやがて自らも中島、鳩山兩相と同じ運命に陷らぬとも限らぬので何れも啞然として一語も發しなかつたといはれて居る、斯くて閣內に於ける熱意の缺乏に依り議會に提出すべき重要政策案の處理は停滯し兩院を通じて不滿の聲は益々高まり行く情勢であるから首相は議會を切り拔けることが出來ても豫定通り居据る事が困難と見られこれに伴ひ政界の暗流は益々激化して不安の空氣を增大するものと見られて居る

非常時フランス　【パリ發】バイヨンヌ市營質屋事件に端を發して大革命以來の大騷變を演じたフランスの非常時を擔當してヅーメルグ氏首班の下に二月九日夜各黨派の領袖連を閣僚とし擧國一致の強力內閣が組織された（寫眞はエリゼー宮前の儆戒と首相親任式に臨む）

查問の一段落で內紛蒸返しか

神經質になつた政友會

【東京特電四日發】鳩山文相等に關する查問會は終了し文相辭任と共に一段落となつたが岡本一巳氏は懲罰委員會に附せられたので綱紀問題は更に懲罰委員會を中心に論議さるべく一方暫く休戰狀態の政友會內訌は三日の本會議の裁決において故意の缺席者とみるべきもの約七十名に達してゐるので岡本氏懲罰に關聯して政友會內紛は再び蒸し返されると想像される

存續を希望するに傾いて居る、といふのは衆議院の大多數は憲政擁護、ファッショ排擊の見地から政權今直に自黨の掌中に轉げ來らざる以上、現內閣の倒壞を期し又は倒閣運動を助强するが如きは得策にあらずとなして居るからである、政友會としては鳩山文相辭職の前後、表裏の經緯に顧み必ずしも今後準與黨的好意を政府に寄せねばならぬ義務を負はぬでもよい立場に追ひ出されたとの感覺を持つに至つてゐるので今後議會が專ら政策上の討議に向ふ場合政友會は從來の態度を豹變して政府へ威嚇的反擊を加へるに至ることは有り得るのであつて就中農村對策に就いては一面政友會が本問題が自黨の主張なりとの自負より出發する政府の本問題の取扱方がこれは亦反對に緩怠至極のものであるから從つて兩者間に展開する論爭は頗る緊張するものと推せられる次第であるけれどもさりとて問題自身が追加豫算の形式に盛られてあるのに本豫算は夙に衆議院を通過して居るのであるからこの懺形に於てこの問題が政府の致命點とまで發展することは有り得ないとも見られるのであつて旁々政情の推移は政府をして議會乘切りの確信を以て議會乘切りの意圖を達せしむるものと見られる、而して議會終了後は直ちに興津に西園寺公を訪問、其の心境を披瀝して今後の政局に處すべき重大方針を決するはずであるが、首相としてはその際なほ諸般の情勢を見て現內閣の存續可能の場合は直ちに政友會に交涉して文相後任の補充をなし內閣の陣容を整へて進む手筈なるものゝ如くである

藤井遞信局長

電報料金改正問題其他の要務のため遞信當局と折衝中であつた遞信局長藤井崇治氏は四日入港のあめりか丸で歸連したが左の如く語る

電報料金の改正問題については遞信省當局を說得するのに相當困難だと思はれたが圓滿に解決した今日から見れば最早彼此申述べることもない、根本問題は早く片付いてゐたのだが枝葉の點に於て多少の差支へを生じたやうな次第であつた、電々會社當局も相當の犧牲を拂つたわけだ、郵政統一問題とかその他いろく問題はあるが、發表を遠慮すべきものであるし、旁々問題が餘りに大き過ぎて自分達の手に負へぬものばかりだ

日佛對滿投資契約東京で調印を了す

佛の對滿接觸策成功

【東京特電四日發】日佛提攜の對滿投資會社設立に關して三日午後六時滿鐵支社において大淵支社長とフランスの經濟發展協會代表者ドリヴイエ氏との間に契約に關する調印を終つた、その要旨は既に傳へられた如く
一、滿洲國の產業發展に寄與するため滿鐵とフランス經濟發展協會とは各々五萬圓を支出して投資會社を設立する
一、會社は投資額を以て滿洲國內の都市計畫卽ち重要都市の土木水利事業開發に當る
一、會社は小規模なるも將來此の種の投資業に就いて更に大規模の計畫を要する場合は滿鐵とフランスの各專門の事業會社と提攜してこれに當る
と云ふのである、これに對しては我が政府は既に認可の諒解を與へフランス政府もまた諒解あり茲にフランスの財團が外國にさきがけて滿洲國投資に成功したわけであり歐米の財團は少なからぬ衝動を受けるであらう

まづフランス側調印　【東京四日發國通】滿鐵では日佛對滿投資會社設立に關し愈々拓務、外務兩當局の認可を得たので三日東京滿鐵支社において大淵理事とフランス經濟發展協會代表ドリヴイエ氏が會見の上契約書にドリヴイエ氏側の調印を了した、よつて滿鐵では直に右書類を大連本社に送達し滿鐵側の調印を了した上近く滿洲經由歸國するドリヴイエ氏に手交することになつた

大淵理事

ドリヴイエ氏

大藏男の滿洲問題質問（1）

滿洲國の經營

日滿人まだく浮腰だ

二月二十七日午前十時開會の貴族院豫算總會に於て大藏公望男の試みたる質問要旨左の如し

大藏公望男　私が本日御伺ひしたいと存じますのは滿洲問題に對してゞあります、一體私は滿洲問題に對しては、餘り議會內において討議されるといふのは、必ずしも好ましいことではないと考へて居るのであります、併しながら今日まで私自身が滿洲に關して研究した結果を綜合して考へまするといふと、滿洲の狀態は必ずしも世人が考へて安心して居るやうな狀態ではない、滿洲問題に關しましては是非とも內閣において、しつかりした信念を以て御進み願ひたいといふことを痛感しますので、寧ろ已むを得ず此處に立つた次第であります申上げる迄もなく國民一般が今日危機と稱へて居るものは、來らんとする所の千九百三十五、六年の年でありますが、この危機に付ては必ずしも私は來るといふことは考へて居りませぬ、併しながら何としてもこれに對しての準備が必要である、その爲に今回の豫算を拜見しますといふと、謂はゞ軍部偏重豫算といふ風なことになりまして、私はこれは誠に結構だと思ひまするが、併しながら單に軍艦を澤山造つたり若くは軍器を澤山造つたばかりで、それで安心出來るといふものではない、どうしてもそれ以外にそれ等の軍艦には軍器と同じ程度に矢張り裏の工作が必要ではないかといふことが考へられるのであります、その裏の工作に付ては政府は何となく非常に準備が足りないのではないか、例へば先般來この豫算委員會において色々論議されました所の燃料國策の問題に付きましても、又航空事業問題に付きましても、私共が何も知らずに承つて居りまするといふと何さしましても委員方がいはれることが正しくて、政府の御答辯が非常に物足らぬといふ感じがするのでありまするこことは、恐らく私一人ではないと思ふのであります、この危機に對しまして最も大事なことゝしまするのは外交工作でありまして、これに對しましては廣田外務大臣が目下非常に御熱心に御奮闘して居られるといふことを見まして、私共非常に安心して居りまするが、唯目下最も大事さ思ひまする所の滿洲問題に關しましては、內閣全體のこれに對する所の御努力、殊に齋藤首相の御決心といふものが、まだ本當に肚を固めて居られるやうでないといふ風な氣がしてならないのであります、昨日も齋藤首相は、滿洲問題解決如何といふことは、日本の將來の興亡に取つては非常な影響があるといふことを御話になりましたが、正にその通りでありまして私は殆んど他の有ゆる問題に先だつて、この問題に關する所のしつかりした肚を御極めになることが最も重要ではないかと考へまするが、事實現はれて居る所を見まするといふとさうは行かない、滿洲問題は最近に米國やらその他の國で以て、非常に理解が出來たやうに新聞に報道されて居りまするが、それは或はその國の政府さしましては、日本に對する國交上の關係から種々緩和策も考へて居りませうが、まだまだ米國あたりの殆んど全部の新聞といふものゝ狀態は、滿洲國に關する所の日本のやり方に非常に反對をして居るといふことは明かであります、單に外國のみならず滿洲國自身が、その國民がまだまだ本當に自分の國の建設に付きましても非常に浮腰であるといふことも、私の知つて居る限り事實だと思ひます、昨年、一昨年に亘りまして、私も滿洲に參りまして、各年二三百人の人に會ひまして色々の意見を聽いて居りますが、その色々の意見を聽いた結果を綜合しまするといふと、その殆んど總ての人といふものは、日本人と滿洲人とを問はず何れも今日の日本のやり方に對して全部滿足の意を表して居ないといふことも、私はいつて差支へないのではないかと考へますので、それで私は心配の餘りこの貴重な時間を費しまして質問する次第であります、私がこれから申上げんとする所の總ては、この原稿全部を十數日前に內閣書記官長の御手許まで出しました、それで私がこれからいはうとすることは、齋藤首相は全部御承知の筈であります、從つて今日御返事下さることは本當の首相の肚の底からの御答辯だと思ひまするので、どうかその積りで以て充分私が滿足の行きますやうな御答辯を願ひたいと思ふのであります、第一が、一體誰が政府部內において滿洲問題を中心に取扱つて居らつしやるのかといふことの問題であります、第二は今回滿洲帝國の創建に際しまして、我國としましてはこれを指導援助する上において更に今までの我國が有つて居つた所の國策を再檢討して、新しい所の國策を樹てる必要はないかといふことの問題であります、第三は若しこの新しい國策が樹てられ又從來の儘にいたしましても、何とかこの際兩國の間にはつきりした條約を結んで、兩國の將來の關係といふものを明かにする必要があるのではないかといふことであります、第四には、日滿兩國は只今申上げましたやうな條約なり、申合せなり、何でも宜しうございますが、何か相談したことがありますならばその相談した範圍內において各々が行動すべきであつて、自分の定められた範圍內を超えて進むといふことは、他方に非常に迷惑を與へ、他方の感情を害し甚だ面白くないのではないか、是非ともその定められた範圍內において行動することにしたいといふことの問題であります、第五は、今日まで日本政府も隨分滿洲國に對しましては色々の援助を與へて居りますが、また今日みたやうな援助では足らぬ、もつと具體的にこれを援助すべきではないかといふことの問題であります、この五つの問題に付て御伺ひしたいのであります

事變の行賞は滿鐵社員家族に及べ

貴族院豫算分科會にて　兒玉伯質問

【東京特電四日發】三日の貴族院豫算分科會に於て滿鐵社員の論功行賞に關する次の問答が行はれた

兒玉秀雄伯　論功行賞に付いては陸海軍人以外にも關東廳や領事館警察官に對しても充分行はれる事と信ずるが特に忘れてならぬものは滿鐵社員の功績である、これは從業員と共に家族にも亘つて行はるべきものと信ずる、從來の例を見れば非常に輕く取扱はれて居るが國家のために生命その他を犧牲にして貢獻せる所は軍人と變りはない軍人は神社に合祀され永遠に其の功績を傳へられるが滿鐵社員の功績なども永遠に傳へる必要ありと信ずる

永井拓相　總て御同感である長きあたりより御慰問のあつた場合など常に平等に取り扱つて居る、警察官の殉難者の中で合祀された者もあるが滿鐵社員の盡した功績に對しても充分酬いなければならぬと考へる、御質問の趣旨に對して滿鐵社員も喜ぶであらう

黃氏南下中止

南支人氣惡化

【北平四日發國通】駐平政務整理委員會委員長黃郛氏は近く南下して汪精衞氏及び蔣介石氏と華北問題について協議することになつてゐたが南下は當分見合せられ

岡本氏懲罰委員會

登院停止を政友主張

【東京四日發國通】岡本代議士が三日の衆議院本會議で院議に服從しなかつたため議長の職權により遂に懲罰委員會に附されたので多分六日懲罰委員會が開かれることゝならうが岡本氏の懲罰事犯に對し政友會は問題の性質上嚴罰主義を以て臨んでゐるので岡本氏に對し相當期間の登院停止を主張するものと見られ民政黨は結局譴責程度が相當さするとの方針のやうであり國民同盟は飽くまで無罪論を主張する方針と觀測される

從つて委員會は相當紛糾するだらうが結局政友會が多數で押し切るに相違ないから岡本氏は政友會主張通りの懲罰を受ける事になるだらう

林滿鐵總裁東上

滿鐵林總裁は伍堂、山西兩理事をはじめ滿鐵關係者多數の見送りを受けて夫人同伴西脇秘書役、島崎秘書役心得帶同四日出帆ばいかる丸で上京したが約一ケ月滯京の豫定

中澤氏長崎へ

滿鐵商工課中澤不二雄氏は長崎および雲仙で開かれる國際產業觀光博覽會に滿鐵、關東廳、滿洲國共同で滿洲館を設けることゝなつたのでこれの指導監督のため四日出帆ばいかる丸で內地に赴いたが約三ケ月滯在の筈

人事

▲山內靜夫氏（電々會社總裁）四日午前七時四十分着列車で歸連
▲安藤中將（旅順要塞司令官）同
▲峰原少將（旅順要港部）同上
▲佐藤應次郎氏（滿鐵々道部建設局長）同上

蛇角

餘命幾許もない老人內閣では、また一本齒が拔けた。
◇
これで五本目、あとは齒齦ばかり、やれ情ない。
◇
豫算喰ひの健啖家も、斯うなつては流石に心細からう。
◇
お氣の毒ながら、今後の國政料理は、一層固う御座るぞ。
◇
轉向者續出の大連で、再建分子活躍說は近頃のナンセンス。
◇
再建分子とやらも飛んだ官傳をして貰つて嬉しかろ。
◇
はいに降りはてに消けり春雪。
◇
訂正　昨紙本欄第五項、脫字ありにつき正誤「同じ赤でも思想の赤は惡いが至誠の赤はよい」

鐵路總局職制改正

四路制四月一日實施

鐵路總局の職制改正は細部的人事を殘して既に滿鐵重役會議の決裁を了しいよく四月一日正式發表を見ることゝなつたが既報の總局原案が大體承認されたもの、卽ち路局の廢合を行つて四路局とし總局內の職制は最少限度に止めて警務處の職制を多少變更するに止めることに決定

唯總局案のうち重役會議で削除を見たものは鐵路事務所設置案で本案に對しては重役會席上事務所の設置は徒らに職制に屋上屋を架する嫌があり、また總局が主張する現業員の訓練は單なる人の配置によつて事足り統制は四路局によつて充分行ひ得るとの意見が有力となり結局事務所の設置はこれを見合せ從つて現在事務所長就任を豫定して配置されてゐる人々はそのまゝ現地に居殘つて監督指導の任に當ることゝなつた模樣である而して路局の人事については現在既に現地にその任にある人々が實質上新職制に順應した業務に携つてゐる形であり、かつ路局の處長以下の人選は新路局長の內申が相當重要視されるものと見られてゐるため異動も豫想外に小範圍に止まるものと見られてゐる、內定を見てゐる四路局長は

奉天鐵路局長　闞鐸
チチハル鐵路局長　秋田豐作
ハルビン鐵路局長　小澤宣義
新京鐵路局長　酒井清兵衞

で小須田氏の產金會社入が中止さなれば同氏が寧山局長に就任するとの說があるが闞鐸氏の呼聲は依然高い

次に總局內の改正は上述の如く警務處のみに止まるもので同處は名稱を路警處と變更し更に科長待遇の監察役數名を總局內に常置することゝなる模樣であり、ハルビン水運處所は名稱を水運局として內容は現狀維持と見られてゐる、なほ路局は原則的に路局名地に設置されるがチチハルのみは現地の建物が完成されるまで臨時に現在の配置を維持することになつてゐる

生活の虹（62）

菊池寬作　志村立美畫

死床の願ひ（五）

子爵の父は、病氣のために、四五年前に隱居したのである。

顏は、子爵の顏を長くしたやうな上品な顏であるが、頰が落ち込み、目のふちには、いくつもしわが寄まれ、もう幾千の餘命もないことは、一眼でうなづかれるほど、衰弱してゐた。だから、言葉の一くぎり每に、ふかく呼吸して、息をとゝのへねば、話し出すことが出來なかつた。

「この事はだまつて居ようと思つたが、やつぱり氣がゝりでな」

父は、そこで言葉を切つて、眼をつむつたが、しばらくすると、

「實は、わしにもう一人子供があるんだ」

意外な事實に、子爵は目をみはつたが、しかしそのために、父を非難しようと云ふやうな氣持はなかつた。

それよりも、父が死を前にして、さうした子供を思ひ出した人間的な惱みに同情した。

「はあ」

子爵は、神妙に云つた。

「十七八年前、二十年にもなるかな。新橋の藝妓で、玉香と云ふのがゐてね……」

父は、その女性の美しい面影でも思ひうかべようとするやうに、ベッド脇の電氣スタンドの青い笠を洩るゝ光を、じつと見つめてゐたが、

「意地になつたのですな」

子爵は、病める父の話しやすいやうにと、合槌を打つた。

父は、子爵が氣がるに、この話をきいてくれることが、うれしかつたと見えて、やせ衰へた顏に、微笑らしいものを、うかべながら、

「さう。さう。さうなんぢや。まだ、二十三四であつたが、意地つ張り強い女だつた……」

「その後その女の人の消息は分らないんですか」

「それが、二十七八までは、藝妓をしてゐたらしいが、その後それとなく、訊き合はして見たが分らん！」

父は、暗然たる顏になつてゐた。

「それに、子供が出來たのだ。わしは、自分の子として世話するつもりでゐたのだが、一寸したことから、その女と仲違ひをして……」

父は、少し長く云ひつゞけたために、そこで苦しさうに、大きい呼吸を三つばかりつゞけてしてから、

「それも、わしが重々わるいんだが、とにかく仲違ひをすると、子供だけ引き取ると、いくら交涉しても承知せん……」

また、父は息をついでから、

「子供をよこさないのなら、扶助料をやらうと云つても、應じない。では、一時金をやらうと云つてもきかん……」

初等教育・體育輕視の弊

伸びる兒童に寂しい夢にも見ぬ鐵棒

氣候の關係から最も必要な屋內體操設備不完全

旣報、女學校入學試驗の際に端なくも暴露した、初等教育の缺陷、卽ち知能教育偏重、技能教育殊に體育輕視の弊については各方面の有識者間の注目を惹きつゝあるが初等教育における體育輕視の

事實 は單に教育當事者の怠慢にのみ歸し難くその體育設備にもまた淋しい缺陷あることが關係當局並に識者の間に注目を惹いてゐる

卽ち四季屋外の運動場を使用し得る內地の小學校に比し滿洲では一月より川月までの五ケ月間は嚴寒のために殆ど使用不可能の狀態におかれてをり從つて、當然必要になつてくるのは、完備せる屋內體操場の設備である、現在大連市內では獨立の冬期（雨天兼用）體操場を有する學校は十五校中一校もなく、講堂を以つて代用してゐる狀態にある、もさより

講堂 と體操場とはその使用の目的を異にし、ために內部設備廣さ等は體操に不適當なことは甚だしい

いま右市內十五校についてその廣さの平均を見るに約百三十坪で最も狹い松林小學校では兒童數六百七十七名、學級數十二級に對して僅かに八十坪、また大廣場小學校の如きも二十四學級一千百八十名に對して僅かに百二十坪しかない狀態である。平均百三十坪の體操場で一學級平均兒童數五一・七名が使用するのでは完全なる運動を取ることが事實非常に困難であるばかりでなく現在では一時間に一學級づゝ十時間づゝこの體操場を使用せざれば規定の時間だけ體操を課することは不可能な狀態である、從つて屋外運動場の

使用 出來ざる冬期五ケ月間は規定體操科時間の半分だけしかこの講堂兼體操場は使用出來ずために他の半分の時間は自然他の學科目と交換されるか若しくはスケート等の冬期屋外運動によつて補はれつゝあるも、全生徒にこれを正科として課するは場所並に器具の關係上まづ不可能である、然し屋外の運動場は不充分ながらも體操科に必須な器械を備へつけてあるが、屋內體操場に至つては各校殆どその完備を見ず左表に示す如き貧弱なる狀態にある

學校名	肋木桁數	並行棒	鐵棒
伏見臺	二	無	無
朝日	一八	三	二
日本橋	三	無	三
常盤	無	無	二
大廣場	一〇	四	四
春日	一二	二	二
松林	一二	無	二
南山麓	一二	二	三
沙河口	一〇	四	二
嶺前	無	五	二
下藤	無	無	無
霞	無	無	無
聖德	無	四	三
早苗	無	無	無

而して昭和九年度は全市で公學堂を除いても一千七百七十八名の兒童が增加し十七學級を殖やさねば收容出來ない狀態にあり、この傾向は今後益々濃厚にならんとしつゝあるが、體操場及び體操場設備を現在のまゝに

放置 することは兒童の體育の上から甚だ憂慮すべき問題で各小學校長はかゝる狀態を改善すべく目下寄々協議してゐる、而も各校最少限度の設備費を四五百圓と見積つてもその總額は約一萬圓に達すべき見込みでこれに對し關東廳當局は多年財源不足を理由として豫算計上を拒否してゐる狀態にあるので各小學校ではこれを遺憾として近く意見を取り纏め更に根强く具申せんとする模樣である、これについて民政署學務課石森視學の意見を聞けば左の如く語る

この問題は吾々も常に考慮してゐることですが、何分費用の要ることゝて現在まで好結果を見るに至らなかつたことを遺憾に思つてゐる次第です、然しこれは逆に見るならば設備等の問題は種々の

困難 を伴ひますが、學校長の學校經營方針如何によつて左右されるところが多いと考へるがどうでせうか、最近兒童數も增加してゐるのだからこの問題になつてはなほ充分考慮し、善處したいと思つてゐます、この新學期を期して各方面から設備完成といふやうな叫びがあがり一緒にその目的に向つて進むことが出來ることを願つてゐます

悲しい喪の凱旋 滿洲事變に奮戰し遂に護國の鬼と化した尊い犧牲者相馬、善井航空特務曹長以下四名の遺骨は四日午前七時大連驛着同九時より埠頭待合所で小川市長、岩井鄉軍分會長、山西滿鐵理事、關根埠頭事務所長、土屋水上署長以下多數官民參列の上しめやかにも嚴粛な慰靈祭が執行され、午前十時出帆ばいかる丸で遺骨宰領者山路航空曹長以下四名の戰友に見守られ悲しい喪の凱旋をなした【寫眞は埠頭にて】

天地一杯の麗春

拗ねた雪は冬を送る挽歌だ

心配無用・駈足行進

春來りなば——若草もえる靑春の喜びに亂舞する春の女神の姿もチラホラと近づくこの頃、意地の惡い冬が未だ己が天下とばかりに春の喜びを待ちかまへる大連人を憂鬱のドン底につきおとしてしまつた、支那大陸に發生した高氣壓が漸次蒙古に移動すると共に優勢となつてきのふから全滿一帶にかけて肌をつくやうな風が吹きまくつて氣溫を下し、今朝は零下六度といふ寒さに逆もどり、雪さへ交つて折角の日曜もサラリーマンにとつてうらめしい一日だ、ドンヨリとして山國の雪の朝を思はせるやうな冬景色、

「一體何時まで冬が續くんでせう」と觀測所に聞いてみると

「寒さは全滿に亘つてゐますが今朝の雪は旅大附近だけで極めて地方的なものですから程なく止むでせう、昨年は三月二十八日の雪が最後でした、大したことはないが、あと一回か二回降つて今冬も終りになるでせう、この寒さも今明日一杯で、あとは段々と暖くなる見込です」

と聲も明るく電話を通じて春を喜ぶ微笑が柔かく傳はつてくる跳梁する冬の姿もこれが最後だ、春は若草のもえ出づる瑞氣漲る若人の天下もう駈足行進だ

七轉遂に起てぬ "大連の怪物"

依然更生望みなき新興俱樂部

身賣りの運命に逢着

役員間の暗鬪が遂に理事長排斥運動と化し、加ふるに經營難で死線を彷徨してゐた市內小崗子不老街の滿人歡樂場新興俱樂部の異變は昨年末表面的に內訌鎭まり出願中の遊戲種目もやつと認可となつて更生の第一歩を踏み出したが、その後

依然 として現在の遊戲方法が滿人の嗜好に適せず再び門前雀羅の不振を續け最近では一日百名內外の入場者で收入僅か二、三十圓といふ有樣で從業員の給料はおろか電燈代支拂すら窮するほどの經營行詰りに逢着してゐる

從つて十數萬圓を出資し俱樂部經營の下請負をしてゐる滿人梁煥有氏外二名の出資者は最早役員の手腕に期待出來ぬと不平が爆發せんとする

形勢 にあるので、井上理事長以下役員が極力慰撫に努める一方關東廳に對し阿片吸飮、ダンスホール、麻雀等滿人向きの娛樂認可を奔走してゐるしかし關東廳では合同前の遊戲場に對する社會の非難にこりて今回は愼重な態度を以て臨み殆ど固定的な方針を抱持してゐる現狀にあるので俱樂部の更生は目下のところ全く至難とされるに至つた、故に井上理事長ほか役員大部分は遂に俱樂部經營にサジを投げ最近內部の意見として現在の機構下にあつては關東廳の方針を轉換さすことは不可能であり、といつてこのまゝ

經營 を續けてゆくには一日經てばそれだけ缺損が增加し滿人下請負人の不平爆發を抑へることは出來ない、而して更生策としては內地有力資本家に俱樂部の權利物件一切を讓渡し新資本家の力を以つて關東廳方面を動かすより外はないといふ有力な俱樂部讓渡說が擡頭してゐる、旣に一部役員間には四十萬圓程度なれば讓渡してもよいといふに肚裡決定したと傳へられてゐるが近く方針決定のうへ資本家の物色に着手する答でいろんな意味から各方面の

注目 を浴びてゐた「大連の怪物」も遂に身賣の運命に逢着せんとしてゐる

風呂屋を專門に荒し廻る優男

惡運盡きて鐵窓へ

市內連鎖街本町通り連鎖街浴場では最近頻々と浴客の衣類が盜まれ去月十八日には大連民政署勤務高橋忠次氏など洋服始めシヤツ、猿股に至るまで盜まれさて歸る段になつて大困りの態であつたが、その他被害者多數に上つて居り所轄小崗子署では躍起となつて犯人嚴探中のところ三日午後二時二十分ごろ同署刑事が埠頭待合所でかねて目星の男を逮捕取調べたところ遂に右犯行を自白するに至つた右の男は原籍香川縣三豐郡和田原一二五番地住所不定無職元船員辻增男（二四）と云ひ昭和六年大阪商船學校を出たものであるが、失職して各地を轉々流浪する內惡事を働くやうになり、懷中には自から鞍山日々新聞大連支局員との名刺を多數所持してゐる等の點から餘罪多數ある見込で鋭意取調べてゐる

荒鷲！十三機

陸軍記念日・關東軍飛行隊が

旅大の空で防空演習

關東軍飛行隊では三月十日の陸軍記念日に際し旅大上空で隷下總鏡十三機を以て佐野司令官自ら指揮官となり防空演習を行ふことになつた、右參加飛行機は偵察機四、戰鬪機六、モス三の計十三機でそれ〴〵三月九日までに大連郊外周水子飛行場に飛來し十日旅大上空で各種高等飛行を演ずる筈で十一日各所屬部隊に歸還するとなほ司令官佐野少將は八日飛行機で來連の豫定

閱兵解散式

各地警察隊

【新京特電四日發】 盛古の盛儀御大典中の新京市內外の警備應援の爲に來京大典前後數日中の警備の重任を果した首都警察廳ハルビン游動警察隊、永吉警察隊、奉天省警察隊等合計三千名は四日午前十時から大同大街で解散閱兵式を擧行した午前九時四十分頃よりカーキ色羅紗服に金モールのついた凛々しい容姿で續々集合整列開式後修首都警察總監より慰勞の辭あり次て長尾警務司長一場の訓示をなし終つて民政部次長葆康氏案內の下に關東軍司令官代理總領事館代表等が閱兵を行つたが更に坂田警察隊長指揮により分列式をなし午前十一時半終了解散した因にこれが應援警察隊員は四日一日は休養し五日六日兩日中にそれ〴〵原隊に歸還する筈である

嚴たる御英姿

八年振り近衞師團

畏し天皇陛下行幸

非常時局に當り皇軍の士氣を鼓舞せらるると共に特に最近進歩せる科學戰の狀況と初年兵の訓練を御親閱あらせらるるため天皇陛下には二月二十八日昭和二年以來實に八年振りて近衞師團に行幸、諸兵を御親閱遊ばされた、この日陽光天地に充ち滿ち絕好の行幸日和、陛下には御英姿嚴として御愛馬「白雪」に召され吹閣部隊七百廿一名の捧銃奉迎の裡に同四十分竹橋の近衞師團司令部に着御、司令部樓上の便殿に入らせられ閑院參謀總長宮、梨本元帥宮、李王各殿下に御對顏次いで大隊長以上の將校に謁見を賜ひ朝香師團長宮殿下より奏上する軍狀を共に聽し召された後同二時再び御乘馬にて營庭に臨御各種演習を御親閱三時三十分龍顏麗しく還御遊ばされた【お寫眞は天皇陛下着御】

歌劇慰問團

けふ來連す

バリトン歌手として聲名ある黑田謙氏、往年淺草で田谷力三等と共に歌劇全盛時代を出現せしめた清水金太郎氏未亡人聲樂家清水靜子女史、壬生瑞志女史の一行三名は第五回陸軍慰問班として、約一ケ月の豫定で沿線各地の將兵慰問のため四日入港あめりか丸で着連、船中黑田氏は折柄の吹雪に「隨分寒いですね」といひながら語る

今迄の慰問班と違ひますのでどんな風にやればいゝかと憫んでゐます、從來耳で聞くものが多かつたやうですから私達は歌劇を中心として耳で聞くものでなく目で聞くものをやりたいと考へてゐます、幸ひ私もバリトン歌手として調子の強いものばかりやつてましたから兵隊さんに喜んで貰へるんでないかと思つてゐます、壬生さんはこの他新舞踊もやられます（寫眞は一行）

高橋、木原兩辯護士歸る

映樂館紛擾問題に關聯し館主篠崎豐彥氏と折衝のため去月廿五日發の飛行機で別府に赴いてゐた高橋猪兎喜、木原鐵之助兩辯護士は吳越同舟よろしく四日入港あめりか丸で歸連した、木原辯護士は映樂館工事請負人八木氏の遺兒が紛擾による工事費未收のため生活に困憊せるを解決せんがためであり、高橋辯護士は館主が訴訟を受けてゐるのでそれ〴〵二日間に亘つて篠崎氏と會談したものであるが交々語る

この問題は非常に複雜して居り分裂また分裂と八幡の藪知らずといつたやうなもので、解決は至難だと思ひます、結局解決方法としては關係者が皆私慾を離れるといふ以外に何物もないといふことを發見したやうな次第です

阿片密輸の摘發賞與

總局で下附

【奉天特電四日發】 鐵路總局では國線に於ける禁制品の密輸を嚴重取締ることとなり、その第一着手として阿片密輸の摘發を施行すべく手續中であるがこれを實施するに當り路警に對する摘發賞與に對しては滿洲國より摘發物の時價により總局へ一定額の下附あり、總局としては路警の摘發を奬勵する意味から摘發賞與を出しその目的を達する意向である

自轉車專門の泥棒捕る

三日午後十時二十分頃小崗子署刑事が管內大龍街一〇三番地先を警行中擧動不審の支那人を發見本署に連行取調べたところ、右は原籍山東省濰縣住所不定無職張鴻文（二九）と云ひ去る二十八日市內惠比須町一三一番地德山號方の自轉車を手初めに自轉車專門に泥棒を働いてゐた旨自白した、餘罪多數の見込で引續き取調べ中

滿洲へ逃亡

大阪恐喝事件

【東京特電四日發】 大阪來電に依れば大阪府刑事課はこの程恐喝事件で尼ケ崎ダンスホールパレスの支配人大竹新藏（三七）の妻ハル（三七）外數名の連累を檢擧したところ大竹はモルヒネ、ピストル數百萬圓の密輸入犯人であつた事が判つたが、彼は檢擧にさきだち滿洲へ逃亡したので直に滿洲各地に手配中である

慰問班の御難 皇軍慰問班の黑田氏御難——四日入港したあめりか丸で勞働許可證を持つてゐないところから送還された原籍山東省威海衞于振江（二五）は豫てから盜癖あり注意人物として監視されてゐた男だが、航海中の退屈にそろ〳〵惡い癖が出て同船が黃海航行中の三日午前九時頃黑田氏のキヤビンに忍び込みオーバを失敬、船の毛布と一緒にくるんで三等室で大きな顏をして煙草を吹かしてゐたが船長以下が大搜査の結果とう〳〵捕へられ入港と同時に水上署へ

天氣予報

北西の風晴時々曇　五日

各地溫度　四日

	午前五時	午前十一時
大連	零下六度	零下七度
旅順	同 六度	同 五度
營口	同 九度	同 六度
奉天	同十一度	同 六度
新京	同十七度	同 八度
新義州	同十二度	同 四度

新講談 丹下左膳 (35)

林不忘作　小田富彌畫

文珠の智慧（六）

拗ね者といふと、變につむじ曲りか、さもなければ卑屈な人間が多いけれど、この蒲生泰軒先生のやうに、とても朗かに世の中を拗ねちやつた人物は、ちよつとほかに類がないであらう。

一たい人間には。

ちやんと家庭を營み、一定の住所を有ち、確たる職業に就き、それ相應の社會的地位を保つて行かうとする、謂はゞ市民的なおもての生活の陰に。

一面……。

兎もすれば無常を感じ、隠遁を好み、一笠一杖、全國の名所寺社でも行脚して歩いたら、さぞいゝだらうと思ふやうな、反世間的な放浪的な氣もちがあるものです。

人によつて、その思ふ度合ひは違ひ、また、考へのあらはれ方も異なりますが、だいたい人間は、ことに東洋人は、誰しも、この現實の俗な責任と、それに對して反動的な、無責任な逃避を欲するこゝろと、内心、この二つのたゝかひに挾まれて生きてゐるといつていゝ。

ですから。

こゝに。

初めッからその社會生活を拒絶してゐる人があつたとしたら、その人は或る意味で、素破抜けた豪い人だと言はなければなりません

誰だつて、さうでせう。

會社や役所へ出て、上役にペコペコし、上役はそのまた上役にペコペコし、お世辭でないやうなお世辭を言ひ、同僚には二重三重の氣兼ね……お金持はお金の無いやうな顔をするし、金のないやつは金のあるやうな顔をするし、もうこんなイヤな世の中に、岩矢絡めにされて生きてゆくよりは、サラリと利慾を捨てゝ、いゝ景色でも見ながらブラブラ野山を歩いたはうが、よつぽど好いにきまつてる。

わが泰軒居士は、それなんです。

捨てべき利念も、氣兼ねも、はじめから持ち合はせない蒲生泰軒

「俺は、仕たい事をするだけだ」

といふのが、先生の信條であります。

だが——。

これは、仕度い放題のことをするといふのとは、だいぶ違ふ。

してはいけないことは、常に、決して、仕度くない人にして、初めてかう言ふことが出來るのです。

してはいけないことを仕たくないのが道徳で、していゝ事をするのが自由だ。

泰軒先生は、これが完全に一致してゐる。さぞサバサバした心境でありませう。

一升徳利を枕に、いつも巷に晝寢する蒲生泰軒、その海草のやうな胸毛に、春は花吹雪、夏は青嵐、秋の野分、冬の木枯が吹き來り、吹き去つて、洒々落々と哄笑ひながら、一生を弱い者の味方として送つた人です。

歴史には名は出てゐなくても、隣家の大將、裏の姐さん、お向うの兄ちやんには、神のやうに、父のやうに慕はれ、敬はれたんです

泰軒はこれでいゝのだ。

長々と餘談にわたつて、まことに恐縮ですが——。

しかし……今を時めく南町奉行大岡樣のお邸へ、かうして夜中に庭からやつて來るなんて、この泰軒のほかにはない。

「やあ、呼んだから來たぞ」

と先生は、暗い植込みの總の重なる庭から、ブラリと縁側へ上りながら、

「おい、化物が來てるのか」

愚樂老人をじろりと見やつて、垢だらけの長絆纏の裾を撥ね、ガッシと組む大胡坐——。

キネマと演藝

滿鐵大典映畫と鏡泊湖撮影

滿鐵弘報係撮影班は滿洲國大典の實況をカメラ四臺を以て記録的に撮影し、これを東京に送つて目下上京中の芥川光藏氏の編輯でPCLにて現像録音しサウンド版とするが、一方新京にある撮影班は既報の如く將來の國立公園候補地と目される鏡泊湖の風物撮影のため近日新京を出發する豫定である

うわさ話

新興の「さくら音頭」は關西、關東の二版で「さくら音頭」と「櫻ばやし」で主題歌もキングとテイチクだつたが▲その後題名は「さくら音頭」レコードはテイチクに統一されたが▲映樂館では松竹の主題歌であるコロムビアをかけて「何でもよろしい氣勢をあげて儲けさへすれば」と涼しい顔をしてゐる▲また常盤座では新天勝一座が日活の主題歌ポリドールで上演してゐる事實こう混戰になつては主題歌なんかにこだはらず興行的には早いが勝ちになりそうなので各館とも秘策を練つてゐる▲最近見たい映畫が三つ——パ社の「或る日曜日の午後」と「妾は天使じやない」それにフォックスの「アメリカ祭」この三本のうちウエストの性的魅力を呼び物にする「妾は……」以外は興行成績を懸念して餘り氣乘りせぬらしい▲殊に「アメリカ祭」はプリントが來てゐるのに「祭」の題名は由來興行成績が芳しくないといふ迷信?も手傳つてか各館とも手を出さぬらしいが▲スマートな映出で洋畫ファンへ奉仕のつもりで思ひ切つて上映する館が一つ位あつて欲しいものだ

直木氏を憶ふ（下）

小田富彌

直木さんのサシエを描いて感心したことの一つは、立ち廻りの所などは、どうしても原稿を繰返して讀まぬと、どちらが斬られたのか分らない、斬り方が目にも止まらぬ速やさで、本當の生命のとりやりはかくもあらうと感ずる凄みとスピードがあつた。また原稿を書くのも早くて、これも大阪時代私とならべて寢たが、夜の十一時から朝までに七十枚からアッ飛ばした精力には全く驚くの外なかつた。

「苦樂」には武林盛七とか香西織江等のペンネームを使つて盛んに書いたもので、それから直木さんの原稿の事で面白い逸話がある——といふのは「サンデー毎日」へ續き物を三十枚ばかり渡して直ぐさま原稿料を受けとり、さて曰く「この原稿は少し氣に入らぬところがあるから一寸この儘にしておいてくれ」そして直ぐあとから全部書き直したものを持つて行つて前の原稿を取り返したことがある。金にも困つたのであらうが、原稿の二十枚や三十枚何の苦もなく書けたのであらう。こんな所にも直木さんの面目躍如たるものがある。

私には、どうしても直木さんが亡くなつたやうに思へない、然は云はない、せめてモウ四五年、存分に書いて貰ひたかつた。それだけが殘念に思ふ。

直木三十五氏、既に亡し、あゝ

（告別式の日に）

"名畫解題「我が子健やかとねがへども」——と云ふのです"

たんせき ぜんそく 百日咳

非常な好評、非常な賣行
藥質、製造の最善設備
慢性も急性も眞によくきく
肺炎、肋膜炎への變症に備へよ

治療と變症作用への二重効果

登錄商標

龍角散（りうかくさん）

治療すべき人々

(喀痰)／たんにて常にゴホンゴホンと……惱む人
(喘息)／ぜんそくにてゼイゼイ息切れ……する人
(頻咳)／セキ頻に出て夜中眠り……兼る人
(流感)／流行感冒より起るたんせき……の人
(肺病)／肺病にて常に力なきせき……出る人
(血混)／たん臭氣を帶び時々血の……混る人
(音聲)／音聲のかれ又は咽喉の……痛む人
(小兒)／百日せき又ははしかせきの……小兒

定價

二日半分	二十錢
四日分	三十錢
八日分	五十錢
十八日分	一圓
四十日分	二圓
六十五日分	三圓

東京市神田區豊島町
株式會社 藤井得三郎商店
振替東京九一番
電話浪花(67)一〇九二〇・一〇八〇五

▽全國藥店（滿洲國、支那、その他）外國樞要都市發賣△

~922